

ストスノ門徒ニ降レリ〔行實ニ至ルヨ〕

聖神ハ使徒ニ於テ作爲セリ彼等ノ諸傳ハ聖神カ彼等ニ於

テ作爲セシ傳ナリ〔行實八ノ十四ヨリ十八ニ至ル九ノ卅一、

聖神ハ彼等ヲ奇異ニ變化セシメタリ彼等ハ聖神ノ降ル迄

ハ如何ナリシヤ凡テノ關係ニ於テ別様ノ人トナリニキ〔カ

四ノ十五、テイモフエイ後書一ノ十、

聖神ハ使徒ニ緣テ凡ソイエススハリストスヲ信スル者ニ

モ分及セリ聖神ハ今日教會ノ中ニ居リ且作爲スイエスス

ハリストスノ約ノ如ク恒ニ居リ且作爲セントス〔イオアソ

六〕聖神アル無クシテイエススハリストスヲ信スルヲ能ハ

ス〔コリンフ前書十二ノ三〕唯聖神ノ能力效用ヲ以テイエス

スハリストスノ功德ト苦ヲ受ケ且死スルヲ以テ獲シ所ノ

義ハ己レカ有ト爲リ凡ソノ贖罪功ハ各人ノ所屬ト爲ルナ

リ〔若シ神ノ神果シテ爾ノ内ニ居レハ爾ハ肉ニ屬セス乃チ

神ニ屬ス〕〔ローマ八ノ九、コリン

後書三ノ十六參考〕己レニ聖神ヲ有セサルノ信

者ヲ眞ノハリステアニソト稱スルヲ能ハス曰ク〔若シ未タ

ハリストスノ神有ラサル者ハ其屬ニ非ルナリ〕〔ローマ八ノ

三ノ五〕聖神ハ信者ノ心内ニ居ルナリ人ハ其心ノ殿ヲ潔清

ニ保全スルノ量ニ應シ光照セラレテ感涙、懺悔、大喜、撫慰及

ヒ快樂ヲ以テ己レニ居ル所ノ聖神ノ火ヲ感觸スルナリ殊

聖神ハ祭日聖ナル會集ノ時及ヒ瞻禮ノ日ニ降リテ其人
 ニ居ル所ノ恩寵ハ人ト共ニ祝賀シ人モ自ラ信證ス我レ實
 ニ「ハリステアコン」ナリ聖洗ヲ受ケタリト故ニ聖堂ノ前ニ
 立チ及ヒハリストスノ機密ヲ領スルニ就ク者ノ如キ此ノ
 聖神恩寵ノ效用ヲ感觸スルモノ亦多ク世ニアリ何トナレ
 ハ彼等ハ直ニ感涙、懺悔及ヒ快樂ニ充タサルレハナリ」
 ニム各「ハリステアコン」ニ益タルヲ論
 凡ソ聖神ノ效用ハ人ノ永遠ノ救ニ關係スルニ依リ恩寵ト
 名ツケラル恩寵ハ神ノ能力ニシテ受クル者ノ權利若クハ
 功勞、德義アルコヨラスシテ只「ハリストス」ノ功德ノ爲メニ

恩寵ノ一

神ノ一仁慈ニ依リ衆人ノ罪ニ遠カリ善ヲ行ヒテ之ニ止マ
 リ聖ト成リテ永遠ノ救ヲ得ルヲニ助ケンカ爲メニ淪陷者
 ニ賜ハル者ナリ
 恩寵ノ道ヲ講明スル時ハ宜ク恩寵ノ緊要ナルヲト恩寵ノ
 外ニ人ノ知ト行ノヲト恩寵ハ如何ナル人ニ與ヘラル、ノ
 一ト恩寵カ人ノ自由ニ關係スルヲト恩寵ノ首ナル效用即
 チ聖ト成ルヲト預定ノヲトチ言ハサルヘカラス
 神ノ恩寵ハ凡テ人ノ行ノ爲メニ緊要ナルモノナリ「ア」人ハ
 恩寵アル無クシテハ救贖ノ事ヲ一モ思念シ願望シ且行爲
 スルヲ能ハサルナリ聖使徒人ノ思念ニ論及シテ曰ク「我レ

恩寵ノ緊要ナル一

能ク己レニ由リテ何者ヲモ思フニ非ス我ノ能ハ神ニ由ル
 ナリコリ三ノ五後又願ト行トニ論及シテ曰ク「神ハ其善意ニ
 依テ爾ノ内ニ行ヒ願ヲ致シ行ヲ致ス」フィリ三二總テ之ヲ言
 テ曰ク「我レハ乃チ其作ル所ナリイイススハリストスニ造
 ラレ以テ善事ヲ行フ即チ神カ預備シテ我等ニ之ヲ行ハシ
 ムル者ナリ」エ二十聖大マカリイ曰ク「靈魂無シハ体ハ死物
 ニシテ一モ行爲スル能ハサル如ク靈魂モ天ニ属スルノ靈
 魂アル無シ神ノ靈アル無シハ天國ノ爲メニハ死物ニシ
 テ神ニ悦ハル、ノ事ナ一モ行フ能ハサルナリ」天國ニ欲ス
 復生セラルヘキ論カ人ハ神ノ恩寵無シハ神ニ反歸シテ

救ヒノ功ヲ始ムル能ハス救主自ラ曰ク「爾我ソテ以テセサ
 レハ能ク爲ス所無シ」イ五ノ五人チ反歸ト救ヒトニ召スハ
 神ノ恩寵ノ功用ナリ救主曰ク「我チ遣ハスノ父之ヲ携フル
 ニ非ンハ人能ク我ニ就ク無ラン」イ四ノ四六「父ノ外ニ子チ
 知ル者無ク子及ヒ子カ樂示スル所ノ者ノ外ニ父ヲ知ル者
 無シ」マ二ノ二十聖使徒曰ク「蓋爾救ヲ得ルハ信ヲ以テ思ニ
 由ル己レニ由ルニアラス乃チ神ノ賜ナリ功ニ由ルニアラ
 ス誇ルヘキ無キヲ致ス」エ八ノ九ニ
 抑モ信徳ノ始初ハ神ノ恩寵ニ係ル此ノ如ク使徒行實ニリ
 デイヤノ事ヲ言テ曰ク「主ハ其心ヲ啓牖シテパウエルノ言フ所

ニ專響セシム〔十六ノ〕不信者ハ視力ニ欲乏スル恰モ盲人ノ如ク然ルナリ聖使徒イオアンカ言ヘル如クナル視力ハ唯神ヨリシテ與ヘラル曰ク「神ノ子曾テ來リ我等ニ賜フニ光ト智トヲ以テシ我ヲシテ眞ノ神ヲ識ルベク且其眞ノ子イイススハリストスニ屬セシムルヲ致ス」〔イオアン一書五ノ二十〕

聖金口曰ク彼レハ自ラ「神」我等ノ内ニ信ヲ入レ自ラ始初ヲ置ケリ〔エウレノイ講說二十ノ八ノ二章〕

望德ハ恩寵ニ屬ス曰ク「希望ヲ施スノ神ハ爾ニ賜フニ信ヲ以テシテ諸ノ喜樂平安ニ滿クシメ爾ヲ聖神ノ能ク以テ望ヲ獲ルニ餘リ有ルヲ致サンヲ願フ」〔ローマ十三ノ五〕

恩寵ハ救ヒノ眞理ニ曉通スルカ爲メニモ神ノ律法ヲ行テ強キ誘惑ニ克ツカ爲メニモ人ニ欠ク可ラサルモノナリ聖書ヲ推排スル理學者及ヒ晚近ノ學士等ハ如何ナル深暗ニ在リ且如何ナル迷謬ニ陥リシヤハ歴然人ノ知ル所ナリ彼等ハ浩嘆シテ信スルニ足レル所ノ者ヲ一モ曉知スルコト能ハサルヲ自認ス其知識ニ防碍スルハ生命ノ短ナルニ係ルカ心智ノ限り有ルニヨルカ本分カ多クシテ之ヲ行フコトノ難キト其他數多ノ原因ニヨルカ既ニ之ヲ言ハス「光ニ命シテ暗ヨリ照サシメタル神ハ已ニ我心ヲ照ラシテ之ヲ光ラシ神ノ榮光ヲ識ルヲ致ス即チイイススハリストスノ面

ニ顯ハル、者ナリ
 考 罪ニ陥リシ人恩寵ノ助ケ無クシテ凡ノ法ヲ行フハ其
 難キニ依ルモ自己ノ天性ノ劣弱ナルニ依ルモ能ハサルナ
 リ侮テ怨スルヲ敵ヲ愛スルヲ節制及ヒ其他律法ノ要急ハ
 甚タ難クシテ人ハ一己ノ力ヲ以テハ如何シテモ之ヲ守尽
 スルヲ能ハス使徒パウエル己ノ事ヲ言テ曰ク「蓋我レニ願ヒ
 有リ但善ヲ行フハ得サルノミ」
 一ノ十八 七章ハ總テ使徒パ
 ウエル雄辨ヲ以テ恩寵ノ助ケ無クシテ律法ヲ充タスヲハ人
 ノ爲メニ能ハサルヲ顯明ス
 人ハ唯恩寵ノ助ケニ於テ内ニシテハ人ニ存スル所ノ欲情

ヨリ起ル強キ誘惑ニ克ツヲ得ヘシ使徒パウエル曰ク「肉
 ハ靈ニ逆ヒ靈ハ肉ニ逆フ」
 一ノ十七 使徒又罪ニ陥リシ劣弱
 ナル天性ノ哀ムヘキヲ顯ハシテ曰ク「我カ肢體ノ中ニ他ノ
 法アリ我カ心ノ法ト戰ヒ我ヲ撓ニシ肢體ノ中ニ有ル所ノ
 罪ノ法ニ服サシムルヲ覺ユ」
 一ノ二十三 外ニシテハ亦魔鬼ノ
 誘惑ニ克ツヲ得ヘシ曰ク「爾ハ信ヲ以テ盾ト爲シ諸ノ惡
 敵ノ火箭ヲ滅ス可シ」
 一ノ十六 且世ノ威制恐嚇及ヒ窘難ニ
 モ能クツヲ得ヘシ曰ク「凡ソ神ニ由テ恩寵ヲ以テ生クル
 者ハ世ニ克ツ」
 一ノ四 一ノ四
 人ノ高上ナル神靈ノ完全ハ聖神ノ恩寵ノ結果ナリ聖神結

フ所ノ果ハ乃チ仁愛、喜樂、和平、忍耐、慈悲、善良、忠信、溫柔、損節
 [ガラテヤ五ノ]ト祈禱ナリ[ローマ八ノ廿六コリン]例ハ福
 音傳教者ノ功勞ノ如キ己レヲ捨テ、身ヲ犠牲ニスル至大
 ナル功勞ハ聖神ノ恩寵ノ助ケニヨルニアラスンハ成ス能
 ハサルナリ聖使徒パウエル聖神ヲ以テ己レノ事ヲ證シテ曰
 ク「我レ勤勞スルコト衆ニ過キタリ然レモ我レニ非ルナリ唯
 神ノ恩ハ我レト偕ニスルナリ」[コリン前]聖大グリゴリイ
 曰ク「功勞ハ恩賜ニ頼リ恩賜ハ功勞ニ頼ルニアラス然ラヌ
 ンハ恩寵ハ恩寵トナラス何トナレハ功勞ヲ大ニスルニ依
 リ恩賜モ隨テ加ハルアリト雖モ恩賜ハ凡テノ功勞ニ先ク

恩寵ヲ分
 賜セラル

イタクリヤ諸神父及ヒ
 靈魂不死ノコト對話

神ハ眞ニ衆人ニ救ヲ得セシメンコト冀ヒ[ルカ九ノ五十七、
 十九ノ十]モフエ
 二ノ前書[衆人ニ其恩寵ヲ分賜スルハ或與フヘキノ責任アル
 ニ依ルニアラス緊要事ニ依ルニアラス功勞ニヨルニアラ
 ス或善行ノ爲メニアラス造物ノ或權利ニ依ルニアラス但
 イイススハリストスノ功德ノ爲メニ自由ニシテ專ラ其仁
 慈ニ依ルナリ]是ヲ以テ願フ者ニ由ルコトアラス趨ル者ニ依
 ルニアラス乃チ神、憐憫者ニ由ルナリ是ノ如クナレハ神ハ
 欲スル所ニ隨ヒテ之ヲ憐ミ亦欲スル所ニ隨ヒテ之ヲ硬ニ
 ス[ローマ九ノ十六]我等恩寵ヲ蒙ルハ各々ハリストスノ恩
 [十八、十一ノ六七]

賜ノ量ニ依ルナリ〔前書十二ノ十一参考〕

〔ア〕神ハ其誠命ヲ行ハシメシメカ爲メニ多餘ノ恩寵ヲ義人ニ賜フナリ神ノ恩寵ノ助ケアルコ方リテハ一トシテ義人カ行フ一能ハサルノ誠命有ル莫ク又一トシテ勝ツ一能ハサルノ誘惑モ有ル莫シ神ハ誠信ナリ爾ノ試ミラル、一爾ノ力ニ過ルヲ容サス乃チ誘惑ニ於テハ必ス出路ヲ開キ爾能ク之ニ當ルヘキヲ致ス〔書十ノ十三前〕イイススハリストス我ガ力ヲ堅ウスレハ則チ我レ能ハサル所無シ〔コリント四ノ十三〕

〔カ〕恩寵ハ唯之ヲ義人ニ賜ハルノミナラス衆信者ニモ總テ賜ハリテ神ノ誠命ヲ行ハシメ且其多年罪中ニ在ル重難頑疲ノ罪人ニモ猶之ヲ賜フテ神ニ歸セシムルナリ我等ハ萬人ニ救主タリ信者ニ於テハ愈々切ナル活神ニ望ミ有リ

〔フ〕前書四ノ十イオアン三ノ十六ペートル後書三ノ九イゼキイリ三十三ノ十一、十二

舊新約ハ神カ罪人ニ勸懲セシメテ充テリ然レモ若シ神ハ罪人ニ反歸ノ爲メニ緊要ナル力ヲ與フルアルニアラスンハ此ノ勸懲ハ果シテ何ノ益アラソヤ

〔サ〕律法ノ下ニ居リシイウデアヤ人ハ神ノ誠命ヲ行フカ爲メニ多餘ノ恩寵ヲ有セリ主イイススハリストスハ屢々神ノ律法ト誠命トヲ行フハ其本分ナルヲ記セシム是レ彼等ハ之ヲ行フ一能ハサルニアラサルニ因ル此ノ如ク彼レハ愛

チ満ツルノ責言ヲ以テイウデヤ人ニ向テ曰ク「諸ノ預言者
 テ殺シ且使テ奉シテ爾ニ至ル者ヲ石撃スルイエルサリム
 ヤイエルサリムヤ我レ屢々爾ノ子輩ヲ集ムルヲ鶏ノ雛ヲ
 翼下ニ集ムルカ如クセン」トチ欲ス而シテ爾ハ願ハスト
マフエイ二七三「若シイウデヤ人ハ主ノ誠命ヲ行フノ力アルニ
 アラスシテ與ヘラレシ律法ハタ、彼等ヲ滅スノミナラハ
 救世主ハ豈此責ヲ行フチ得ンヤ聖書ハ義人即チ神ノ誠命
 ヲ行ヒシ者ノ數ニ舊約ノ者モ有ル」トチ證ス然レモ彼等ハ
 唯贖罪主ノ來ラントチ信スルニ依リ其與ヘラレシ恩寵ノ
 助ケチ以テ之チ行フヲ得ク「我等ハ主イエイススハリス

トスノ恩ニ由テ救ヒチ得ルハ彼等ト異ナルナキチ信スト實行
 十五ノ十一、四ノ十二參考

〔タ〕神ハ異端者及不信者ニモ猶之ヲ招來シ反歸シテ救ヲ得
 セシメンカ爲メニ緊要ナル恩寵ヲ賜フナリ「彼ハ萬人眞理
 チ知テ救ヲ得ンチ欲ス」テイモフニイ前「彼レハ萬人ヲ救テ天國
 ニ導ク」トチ使徒ニ誠命セリマトフイ二廿八ノ十九、廿一「萬人ニ
 救ヲ爲ス神ノ恩ハ己ニ顯著セリ」テイ一ト二
 救ヒノ事ハ盡ク恩寵ニ屬スト雖モ人ハ恩寵ノ殊別ナル助
 ケナクモ能ク或眞理ヲ知り及ヒ或善行ヲ行ヒ容易ナル誘
 惑ヲ制シテ之ニ勝ツヲ得ベシ

生得自然
 ニ於テ善
 テ知リ日
 行フハ人
 ノ爲メニ
 能スヘキ

〔ア〕罪ニ陥リシ人能ク或天然固有ノ真理ヲ知ルヲ得ベシ此
 レ聖書處々ニ見エ殊ニ使徒パウエルノ證ニヨルニ曰ク「神ノ
 怒ヲ啓示スル天ヨリシ凡ソ夫ノ不義ヲ以テ真理ヲ沮スル
 者ノ不虔不義ニ向フ神ヲ知ル可キ所ノ者己ニ彼等ニ顯ハ
 ル、ニ因ル蓋シ神ハ己ニ之ヲ彼等ニ顯ハセバナリ蓋シ天
 地ヲ造リシヨリ以來其ノ見ル可ラサルノ情即其永能ト神
 体トハ造ル所ノ物ヲ以テ通シハ明ニ見ルベシ因テ彼等ハ
 罪ヲ辭スルニ由シ無シ既ニ神ヲ識リテ神ヲ以テ之ヲ榮シ
 之ニ謝セサルニ因ル」ヨリ廿一ニ至ル
 〔カ〕天然ノ地位ニアルノ人ハ或善行ヲ行ヒテ容易ナル誘惑

ヲ制服スルヲ得ヘシ前條ニ引用スル使徒パウエルノ言ニヨ
 リテ明ニ異教人ハ唯神ニ悅ハル、ノ意思、言辞及行事ヲ以
 テノニ榮セラル、神ヲ榮スルヲ得ルヲ見ルヘシ使徒又更
 ニ異教人ノヲ證シテ曰ク「未タ律法アラサルノ異教人ハ
 自ラ律法ノ事ヲ行フ」ローマ二ノ十四ト夫レ生得自然ノ人ハ能ク
 善道ヲ知り且能ク之ヲ行フヲ得バ其容易ナル誘惑カ神
 ノ律法ヲ知り且行フヲ奪テ之ヲ他ニ向ハシムルニ克ツ
 ヲ得ルハ論ヲ俟タサルナリ
 天然ノ人カ成ス所ノ善ハ種々様々ノ關係ニ於テ極メテ缺
 乏スル所アルハ無論ナリトイヘ凡然レ凡人カ作シタル善

ハ如何ナル缺乏誤謬ト混スルモ到底善ハ認メテ惡ト爲ス
 能ハズ救ヒノ爲メニ資ケズト雖モ定罪ニモ資ケサルナ
 リ此ノ如クモキベトノ収生者ハ神ヲ畏レテエウレイノ兒
 ナ殺サス〔出埃及記一〕罪トナラス神ニ悅ハル、行チ行ヘリ
〔同二〕又百夫長コルテリイモ未ダ反歸セサルコ當リ祈禱ト
 遇濟トチ以テ神ノ怒ル所トナラス恩遇仁慈ヲ蒙フルヘキ
 モノトナレリ〔十行實〕使徒パウエル異教人ニ論及シテ言フ彼等
 ハ罪ヲ以テ傷ハレシカド未ダ絶亡セサル天然ノ能力ノ餘
 リテ以テ自ラ利シテ天然ノ善ヲ行フト〔ロ一、二ノ〕然ラズ
 シハ天然若クハ正面確實ノ命令及ヒ禁戒即チ父母ヲ愛シ

患難ノ者ニ扶ケ施濟スルノ諸行ハ蓋シ重罪タラントス况
 ヤ父母ニ子ニ生國ニ於ルノ愛ハ愈々大ナレハ罪ハ益々重
 カラントスルナリ然レモ教會ハ教ヘテ曰ク一人ヲ以テ行フ
 所ノ善ハ罪ト爲スベカラス何コトナレハ善ハ惡ト爲スベ
 カラザレバナリ若シ天然ノモノタレバ人ヲ靈ニ属スル者
 ト爲シ神ニ属スル者ト爲サス兼ルニ信チ以テセサレハ救
 ヒノ爲メニ資ケストイヘモ定罪ニモ資ケズ何トナレハ善
 ハ善ナリ惡ノ原由トナルベカラサレハナリ恩寵ヲ以テ重
 生セラル、者ニアリテハ善ハ増々長養セラレテ完全ナル
 チ致シ人ヲ救ヒニ堪フヘキ者ト爲ス人ハ重生セサルノ前

恩寵カ人ノ自由ニ關係スル

ニ性ニ依リ善ニ愛嚮スルモノトナリ固有ノ善ヲ擇ヒ且行
 フコチ得ヘシト雖也然レ也既ニ更生シテ能ク神ニ属スル
 ノ善ヲ行ハンカ爲メニハ恩寵カ先ダチテ之ヲ誘導セシ
 ヲ要ス蓋シ人ハ自己ニハリストスニ應スル生命ノ行ヲ行
 フコ能ハズシテ唯恩寵ニ遵ヒテ行フヲ願フコチ得可ク若
 シハ願ハサルコチ得可キニ因リテナリ〔東ノ総主教正教ノ書十四章〕
 神ノ恩寵ハ唯人ノ自由ヲ絶タザルノミナラス虐クルコチ
 モナサス人ノ行爲スルハ責メラル、ニ依ルコチ又強
 ヒラル、ニ依ルコチ又弱スルハ恩寵ノ感ニ順フコチ得ヘク
 又順ハサルコチ得ヘシ合同賛成スルコチ得ヘク反抗逆

スルコチ得ベシ人ハ必シモ神旨ヲ遵奉スルコチアラス時ト
 シテハ神カ爲スヲ命スル所ヲ行ハサルコチ有リ之ヲ簡説ス
 レハ人ハ恩寵ノ鼓舞振作ニ従フコチ得ヘク又従ハザルコ
 チ得ヘク善ヲ爲スコチ得ヘク爲サ、ルコチ得ヘシ聖金口
 曰ク「神ハ人々ヲ己レニ召喚スレ也德行ヲ擇フコチ欲セサ
 ル者ノ意旨ニ緊要ヲ負ハシメス強フルヲ致サズ乃チ開導
 感化シテ之ヲ勸メ助ケサル所ナク心ヲ用ササル所ナク之
 チ獎勵シテ善者ヲラシメント欲スルノミ若シ善者ヲラシ
 ンチ欲セサル者アレハ神ハ強ヒス」〔マコトフエイ講説 八十三ノ三章〕
 聖書ハ自由自主ノ本性ナル人ニ指明スルニ恩寵ノ感勸ニ

效法順徒シイ黙示録三ノ廿イアコフ四ノ七エウレ心ヲ硬コ
 セスシテ恩寵ノ聲ニ向ヒエウレノ七四ノ三七主ガ新ナルヲ爲ス如
 シ自ラモ新心ヲ作シイエゼキイリ十神ハ我等ニ近ツク如ク
 我等モ神ニ近ツキイアコフ四ノ八神カ我等ニ向フ如ク我等モ神
 ニ向ヒイエレミヤ卅一ノ十八十九マ我等ノ心ヲ主ノ誠命
 ニ傾ムケイサイマ五恩寵ヲ助ケコリンフ後書六ノ一エフエ
 テ之ヲ増殖スルヲ力ムルテイモフエイ前書四ノ六等ノ誘導勸
 説ヲ以テス人ハ若シ恩寵ニ悖逆スル時ハ亦且督責ヲモ行
 フナリ行實七ノ五十一イサイマ五人ノ反歸スルニ及フ迄
 其自由ヲ虐ケサル神ノ恩寵ハ既ニ恩寵ノ溢フル、所トナ

リテ神靈ノ完全ニ達セシ時モ干ス所無クシテ其自由ヲ存
 ス大マカリイ曰ク人ノ性ハ縱令人ハ惡ノ深壑ニ陥リテ罪
 ノ奴トナルアルモ能ク善ニ反歸シ來ルヲ得ヘク又聖神ニ
 服歸シテ恩賜ニ飽充セラレシ者モ能ク惡ニ轉シ去ルヘキ
 ナ有スルナリ故ニ既ニ惡ノ中ニ沈落シテ己レヲ魔鬼ノ具
 ト爲ス者モ或ル避クヘカラサルノヲ以テ惡ニ拘繫セラ
 レズ乃チ揀選ト生命ノ器トナルノ自由有ル如ク神徳ニ飽
 充セラレシ者モ聖神ニ感セラレ之レト結合セラレシト雖
 モ或己ムヲ得サルノ事ヲ以テ留メラレバ回歸シテ此世ニ
 欲スル所ヲ作スノ自由有ルナリ四十五ノ論說三十章

救ヒノ事ニ於テハ凡テ恩寵ニ属スト雖モ恩寵ハ人ノ意ニ
 悖リテ作為スルヲ能ハス故ニ救ヒノ事ハ恩寵ト其人トニ
 属ス恩寵ト自由ハ人ノ救ヒノ事ニ於テ同ク緊要ナリ何人
 ニ論ナク誠命ヲ行ハサルモ神ハ能ク恩寵ヲ以テ靈魂ノ充
 分ナル潔淨ヲ我等ニ賜フヘシト思フベカラズ我レ亦人ハ
 或ハ古時或ハ今時其誠命ヲ守ラサルモ心ノ潔淨ヲ得テ靈
 神ノ澄明ヲ賜ハリシ者アリト言フヲ能ハサルナリシリヤ
 サアソ奇蹟行爲者シメオンニ達スル書聖金口白ク若シ人ハ天上ノ佑ケヲ得サ
 レハ人ノ一己ノ勉強ハ缺クル所アリ之ト同ク若シ我等ニ
 自己ノ勉強アラサレハ天上ノ佑ニヨリテ何ノ益モ受ケザ

ルナリ彼此二者ハイウダペートル之ヲ證ス其一ハ多クノ
 佑ケヲ受ケテ何ノ益モ受ケサリキ何ニトナレハ自ラ願ハ
 ス且己レノ勉強ヲ加ヘサルニ因ル其二ハ己レノ勉強ヲモ
 并セテ失ヘリ何ニトナレハ何ノ佑ケヲモ受ケサルニ因ル
 德行ハ此二者ヨリ合成スマトフェイ講説故ニハリスデアニ
 ンハ各々神ノ救ヒノ恩ニ沾ヒツ、永遠ノ救ヒヲ得ントセ
 ハ恒ニ己レヲ責メテ神誠ヲ履行スルヲ致シ内外交々凡ソ
 ノ德行ニ競争進修シテ己マサルヘキナリ曰ク「神ノ國ハ人
 ノ用力ヲ以テ得ラル而シテ用力者ハ之ヲ奪フ」マトフェイ十
 カ十六ノ大マカリイ曰ク凡ソ德行ニ従事セス己レヲ之ニ
 十六参考

信スベシ〔エウレイ〕至聖三者ト人體ヲ藉リシコノ奧秘ヲ信
 スルコ亦緊要ナリ夫レ永生ハ即チ爾ヲ獨一ノ眞神及ヒ爾
 カ遣ハス所ノイエススハリストスヲ識ルナリ〔イオアン十
 七ノ三マ〕
〔ク十六ノ十六マ〕若シ我ノ是レタルヲ信セサレハ則必ス
〔フェイ廿八ノ十九〕爾ノ罪中ニ死ス〔イオアン
 八ノ廿四〕天下ノ人ニ未タ他ノ名ノ我等ヲ
 シテ之ニ由テ救ヲ得セシムルヲ賜ハズ〔ノ行實四〕
 羅馬ノ聖クリメントノ書ニ曰ク我等神ノ旨ニ循ヒイエス
 スハリストスノ召シテ蒙フリテ義ト稱セラル、ヲ得ルハ
 躬自ヲヲ以テセズ其智徳若クハ明悟若クハ虔誠若クハ事
 功ヲ以テセスシテ神全能者カ永遠ニ衆人ヲ義トスルノ信

ヲ以テスルナリ〔コリントフニ達ス〕然レ凡一個ノ信ハ縱令ヒ
 完全ナルモ救ヒノ爲メニ足ラサルアリ人ハ行ニ由テ義ト
 稱セラル獨リ信ニ由ルニアラス〔イアコフ
 二ノ廿四〕善行トハイイス
 スハリストスニ於テ義ト稱セラレシ人ノ徳義ノ行トイ
 ススハリストスノ爲メニ行ハル、愛ノ果實トテ謂フナリ
 主イエススハリストスハ善行ヲ信者ヨリ趣カス曰ク是ノ
 如ク爾ノ光ハ當ニ人ノ前ニ耀カスベシ其ヲシテ爾ノ善行
 ナ見テ榮ヲ爾が在天ノ父ニ歸セシメンカ爲メナリ〔マトフェ
 一ノ五ノ〕
〔二十六同七ノ十九〕使徒ハ證シテ曰ク爾カ行フ所主ニ宜クシ
 テ凡ソノ事之カ悦フ所ト爲リ諸々ノ善事ニ於テ果ヲ結ヒ

テ神ヲ知ル利益々深シ一コ二ロ三ス四宜シ彼此相顧ミテ仁愛善行
ヲ激勵スベシ五エ六ウ七レ八イ九十一〇ノ一一廿一二四一三コ一四リ一五ン一六フ一七前一八書一九六二〇ノ二一十二二二二三テ二四イ二五ト二六二二七ノ二八十二九一三〇以

神ノ審判ニ於テ義トセラルハ獨リ信ノミニ依ラスシテ

各人ノ行ニ依ルナリ曰ク「人子降臨スル時ハ各人ノ行ニ依

テ之ニ報イントスマトフエイ十六ノ廿七廿五ノ卅四以下ロ

一ノ十七コリントフ後書五ノ十善行ヲ行ハサル者ハ定罪セ

ラレ但神ノ法ヲ盡シタル者ハ永福ヲ享ケントス曰ク「神ハ

將ニ各人ノ行ニ依テ之ニ報イントス恒忍善ヲ行ヒテ尊榮

無壞ヲ求ムル者ニハ永生ヲ以テシ争鬪眞理ニ従ハスシテ

不義ニ従フ者ニハ忿怒ヲ以テセントスヨリハニ至ル六

主、神ハ其仁慈ニ依リテ人ノ善行ニ功勞ノ價ヲ賜ヒ之ヲ賞

スルニ永生ヲ以テス曰ク「欣喜踴躍スベシ在天爾ノ賞大ナ

ルニ因テナリマトフエイ五ノ十二此レ神ハ神ヲ悦ハシメタル者ニ其

賜ヲ冠シ其恩寵ニ頼リテ成就スル所ハ之ヲ人ニ歸シ以テ

其人ヲ賞スル所以ナリテイモフエイ四ノ八コリントフ前書九ノ廿四三ノ八十五ノ四十一

シリヤノ聖エフレム曰ク「人ニ分與セラレシ恩寵ハ人ノ自

己ノ救ヒニ頼リ轉シテ聖善ナル行ヲ制シ來ル時ハ此恩寵

ハ神ノ仁慈ニ依リ既ニ恩寵ニ屬セズ人自ラノ力ヲ以テ之

ヲ制セシモノ、如ク行ハ看之ヲ制セシ者ノ有タルヲ致ス」

我等ハ義人ノ行ハ功勞ノ價有ルヲ任從シツ、我等カ中保者イイススハリストスノ功德ヲ輕ンセサルナリ何ニトナレハ人ノ功勞ハ總テ重キヲ彼レノ功德ヨリ領収スレハナリ永生ハ恩寵トシテモ賜ハリ又恩賞トシテモ賜ハル恩寵ヨリスルモノハ神ハ我等凡テ無功ナルモ我等ヲ永生ニ預定セシニ因ル恩寵ヨリスルモノハ我等ヲ永生ニ預定シテ其法ヲ行フ者ニハ恩賞トシテ之ヲ約シ賜ヒシニ因ル聖金口善行ト聖ナル身事トハ救ヒノ爲メニ緊要ナルヲテ救ヘテ曰ク「聖洗モ罪ノ赦シモ智識モ機密ヲ享クルヲモ聖ナル晚餐モハリストスノ肉ヲ食フヲモ血ヲ飲ムヲモ其他

此ニ類スルノヲモ若シ我等ハ無玷無汚凡テノ罪ヨリ潔クセラレシ驚クヘキノ生命ヲ有スルアラスンハ我等ニ益ヲ生スルヲ能ハス

【^{ローマ}九ノ十三講説】

東總主教ノ書ニ曰ク「我レ人ノ義ト稱セラル、ハ單獨ノ信ヲ以テセスシテ愛ヲ以テ助ケラル、ノ信即チ信ト行トヲ以テスルヲ信ス信ヲ行ニ易ヘテハリストスニ於テ稱義ヲ得ント思フハ我等ハ全ク不虔敬ナリト認ムルナリ何ニトナレハ此ノ如クナルノ信ハ各人ニ適用スベクシテ一モ救ハレサル者アラサラントス其假ナルヲ昭々タリ之ト相反シテ我等ハ唯信ノ虚影幻像ノミナラス我等ニ實在スルノ

信ハ行ヲ以テ我等ヲハリストスノ中ニ義トスルヲ信ス行
 ハ獨リ我等カ召シテ證スルノ證左ヲ以テ之ヲ視ズ乃チ我
 等ノ信ニ配助シテ之ヲ奮熱ナル者ト爲シ且神ノ應許ノ如
 ク己レノ身ヲ以テ行ヒシ所ニ依リ若クハ善若クハ惡相當
 ルノ報ヲ各人ニ得セシムベキノ結果ヲ以テ視ルナリ」〔東總
 正教ノ書〕
 何人ヲ問ハス神ノ殊別ナル默示ヲ以テセズシテ義ト稱セ
 ラレ若クハ聖トナルヲ得テ選人ノ數ニ属スルヲ信證ス
 ル能ハズ信者ハ神ノ仁慈トイイストスノ功德ノ
 カト聖機密ノ益利功用トニ於テハ無論ニ疑ヒテ容ルヘカ

義ト稱セ
 ラルニ信
 證スヘキ

ラストイヘ然レモ己レヲ偏視セサル者ハ何人ニ論ナク
 罪過劣弱及ヒ情慾ノ夥多ナルヲ己レニ見サルヲ能ハサル
 ナリ故ニ其永運ノ爲メニ心寒セサルヲ能ハザルナリ大聖
 ハ神ノ審判ヲ戰慄セリ曰ク「蓋シ誰レカ誇リテ我レ己ニ我
 カ心ヲ清クセリト云フ可キヤ或ハ誰カ敢テ我カ罪己ニ潔
 シト云フ可キヤ」〔箴言二
 十ノ九〕使徒パウエル曰ク「我レ自ラ責ムル所
 無シ但必シモ此ヲ以テ義ト稱セラレズ我ヲ判スル者ハ乃
 チ主ナリ」〔コリント前
 書四ノ四〕
 義トセラレタル者ノ地位ハ必シモ同一ノ地位ニ居ルニア
 ラズ聖書ノ證ニ依ルニ信ト愛ト誠命ヲ行ヒ神ノ恩寵ノ效

義ヲ得シ
 者ノ位境
 各様ナル

感ヲ恒ニスルコノ成長スルニ隨テ成長スルナリ「使徒主ニ
 謂テ曰ク請フ我等ノ信ヲ益セ」〔ルカ十七ノ二十五イオアン〕「我レ
 祈禱スルハ爾ノ愛ハ智識智慧ト日ニ更ニ多キヲ加ヘンテ
 欲スルナリ」〔一ノ九〕「主重ナル罪ニ縁リテ義ト稱シ若クハ聖
 トセラレシコトヲ奪ハル、コアル可シ聖書ハ義ヲ失墜セサ
 ルコト罪ヲ以テ己レヲ冒瀆セサルコト義人ニ勸ムルヲ絶
 タス終ニ義人中神ノ敵ト爲リシモノ、コト多ク證ス其一
 ハイイススハリストスノ言ニ見ユ曰ク「當ニ散醒祈禱スヘ
 シ誘惑ニ入ルヲ免ル」〔六ノ四十一〕「使徒曰ク「自ラ以テ立ツ
 ト爲ス者ハ宜ク戒慎スヘシ傾クヲ免ル」〔コリンフ前〕「爾ハ信

ヲ以テ立ツ故ニ高キニ心アル勿レ宜ク畏懼スベシ」〔ローマ
 二ノ十及〕「其二ハ預言者イエゼキイリノ言ニ見ユ」〔二卅三ノ十〕「曰
 ク「義人ハ其罪ヲ獲ルノ日ニ於テ救ヒテ得ル能ハス我レ義
 人ニ言フ固ヨリ必ス生ヲ得ルト彼レ若シ己レカ義ヲ恃ミ
 テ惡徳ヲ行ハ、其諸義事ハ皆記憶ヲ蒙ルヲ得ス彼レ必ス
 其行フ所ノ惡徳ニ因テ死ス」〔其三ハ惡鬼アダムサウルダウイ
 ードソロモンペートルイウダ及其他ノ例ニ由テ明白ナリ
 皆先キニハ義人コシテ重ク罪ヲ犯シリ其中一ハ罪中ニ死
 シ一ハ深悔痛涙ヲ以テ其罪ヲ洗淨セリ
 神ハ世界ヲ造成シ及ヒ人間ヲ救フコトヲ永遠ニ預定セシ如

カノ預定

ク亦或人々ヲハ之カ自由ヲ傷フナク其恩寵ニ縁リテ永
遠ノ救ヒニ導クヲ永遠ヨリ預定セリ成聖及ヒ救ヒニ預
定セラレシ人ハ被預定者若クハ被選者ト名ツケラル

イニススハリストス及ヒ使徒ハ榮福ニマトフエイ十四行實十三ノ三

イ八九ノ十五恩寵ニタイモフエイ後書一ノ成聖無疵ニエフエス一

預定セラレシコトニ明ニ論及シ其預定セラレシ者ヲ父ノ祝
スル所ノ者マトフエイ廿四父及ヒ子及ヒ聖神ニヨリテ生マレ

シ者イオアン一書二ノ廿九、四ノ生命ノ冊ニ録セラレシ者

七ノ八、二四ノ三、黙示録十ト名ツク舊約ノ祖先等ハアウラア

ムローマイサアツ及ヒイアコフ九ノ八ヨリノ如キイズラ

イリ民イサイヤ四ノ如キハ被預定者ノ預表アリ預言者イ

エレミヤノ如キ一ノ先驅イオアンノ如キルカ一ノ十五以下至聖童

貞マリヤノ如キハ預定アルコトノ表様タルナリ

預定ハ第一ノ始原トシテハ神父マトフエイ二十ノ三十四ヲ以

テ之ヲ成シ全クノ自由ニヨル中保トシテハイイススハリ

ストスヲ以テ其旨ノ憐憫ナル仁慈ニ依リテ之ヲ成スエフエ一

ノ五、二ノ十三ノ十一、ローマ八ノ廿八テイモフエイ後書一ノ九

預定ハ神ニ屬スルノ事タリト雖亦各人ノ行爲ト其生命
トヲ預知スルニ根據スイニススハリストスハ全世界ノ爲
ニ成シ衆人ニ救ヲ得セメシメントヲ願ヒ其一モ淪亡スル

アルヲ欲セス衆ニ告テ曰ク「凡ソ勞苦負重者ハ我ニ就クベシ」^{〔マコトフェイ十〕}ト衆人ニ救ヒノ爲メニ緊要ナル恩寵ト方法トヲ賜フテ之ヲ善用スル者ヲ永遠ノ榮福ニ預定シ自己畢生ノ間悖逆不悔ニシテ已ム者ヲ定罪ス故テ以テ矜憐ノ恩寵ヲ奪ハル、者ハ其人自ラ之ヲ奪フナリ聖ナル父等ハ或者カ聖書ノ條々^{〔エフェス〕}一章四節羅馬書九章十一節ヨリ十三節ニ至ル、十五節、十八節^{〔コリ〕}ニ於テ神ノ人ニ管セサル無限ナル預定ノ意ヲ見ントスルヲ此ノ如クニ辨明ス金口右ノ十八節ヲ解釋シテ曰ク「何爲レソ」^{〔イアコフ〕}ヲ愛シテ「^{〔イサウ〕}テ憎ミシヤ一ハ不善ニシテ一ハ善ナルニ因ル然レモ其

未タ生レサルノ先ニ一ハ尊視セラレ一ハ罪ニ定メラレタリ彼等カ未タ生レサルノ先キニ神ハ「長者ハ幼者ニ服セン」ト曰ヘリ何ニ因テ神ハ此言ヲ爲セルヤ神ハ人ノ如ク事ノ終リヲ待テ始テ某ハ善某ハ否ラサルヲ知ルニアラフ翻ツテ之ニ先ナテ某ハ不善ナリ某ハ否ラサルヲ知ルニ因ル」東總主教等此事ヲ説明スル左ノ如シ「我等ハ至善ナル神ハ其揀選セシ者ヲ永遠ヨリ榮福ニ預定シ其嫌棄セシ者ヲ定罪ニ付セシヲ信ス然レモ神ハ理由無クシテ此ノ如ク一ヲ義トシ一ヲ棄テ且罰センヲ欲セシニアラス何ニトナレバ是ノ如クナレハ萬民ノ公父タル貌ヲ以テ人ヲ取ラサルノ

神即チ「萬人眞理ヲ知リテ救ヒテ得メテ欲スル者」（前書二ノ「アイモフエイ」）
 四ニ適應セサレハナリ但神ハ一ハ其自由ノ權ヲ善ク用フ
 ヘク一ハ惡ク用フヘキヲ預知スルカ故ニ一ヲ榮福ニ預定
 シ一ヲ罪ニ定メタリ、、、神ヲ毀謗スル異端者カ神ハ
 預定セラレ、者ト定罪セラル、者ノ行ニ少クモ拘ハラス
 シテ預定シ若クハ定罪スト云フ如キハ我等視テ無知且不
 敬虔ト爲ス（「東總主教正教」ノ「一」）

聖ヲ施ス
 ノ中保ノ
 本タル教
 會ノヲ及
 ヒ聖ヲ施
 スノ方法
 タル機密
 ノヲ

教會ノ

〔二〕特ニ聖ヲ施スノ事

主イエスハハリストスハ衆人ニ聖ヲ施スノ能力タル聖神
 ノ恩寵ヲ受ケシメシメカ爲メ（第一）教會ヲ設立セリ即チ聖
 神ノ恩寵ヲ衆人ニ授クルノ恩典ト特許トチ交付セシ者ナ
 リ（第二）機密ヲ立定セリ即チ信者ノ爲メニ緊要ナル聖神ノ
 恩寵ヲ分與スル有形ノ外儀ナルモノナリ

〔二〕教會ノ事

ハリストスノ教會ハハリストスヲ信スル者ノ救ヒノ爲メ
 ニイエススハリストスカ設立シタル社會ニシテ獨一ノ首
 トシテハリストス之ヲ治メ無形ニシテハ聖神ヲ以テ有形

教會ノ設立者

ニシテハ其立ツル所ノ牧者ヲ以テ教道聖事及ヒ機密ヲ行
 フト誘導トニ由ル者ナリ
 一ノハリストス教派ノ他ノ教派ト異ナルハ特ニ教會ノ
 ノ教ヲ以テナリ故ニ教會ノ正教ヲ稍々濶ク説明セン
 トス教會ノノ教ニ於テハ〔一〕創立者ノ事〔二〕教會ノ首ノ事
 〔三〕目的ノ事〔四〕合成ノ事〔五〕神品ノ事〔六〕眞教會ノ特表ノ事及
 〔七〕其秀山ノ事ヲ顯ハサヅルベカラス
 〔一〕ハリストスノ教會ハ其自ラノ名稱ヲ以テイエススハリ
 ストスノ設立スル所ナルヲ證明スイエススハリストス親
 ラ允許シテ曰ク「吾レ我カ會ヲ立テントス地獄ノ門之ニ勝

教會ノ首

ツ能ハズ〔六ノ十八〕^{マトフイ十}彼レハ其門徒ノ中ヨリ十二人ヲ選擇
 シテ之ヲ使徒ト名ツケ^{マトフイ十ノ一節以下マル}特權特
 許ヲ以テ之ニ賜ヘリ<sup>マルク十六ノ十五以下マトフイ十六
 十一ノ十五ヨ</sup>又十二使徒ノ外ニ七十門徒ヲ舉撰セリハリ
 ストスノ教會ハ其昇天ノ後施テ隣近ノ地方ニ及ヒ^{ノ行實二}
 幾クモナクシテ大地ノ遠キニ達シ遂ニ全天下ニ著シキモ
 ノトナレリ^{ローマ十ノ十八}イエススハリストスハ其教會
 ノ命運ヲ芥子ト^{マトフイ十}酵ト^{廿三}種子^{マルク四ノ}譬
 テ以テ預象セリ
 〔二〕教會ヲ創立シタルイエススハリストスハ獨一永遠ノ首

ニシテ教會ハ彼レヨリ生命智慧及ヒ善治ヲ授ケラル、ナ
 リ使徒曰ク〔神〕之ヲ一切ノ上ニ立テ、教會ノ首ヲラシメ而
 シテ會ハ乃チ其身ナリ一切ヲ以テ一切ヲ滿ツル者ノ盛滿
 タリ^{エフエス}ノ^{エフエス}二十^{ハリス}二^{ハリス}一^{ハリス}ハリストスハ會ノ首タリ且身ノ救者タリ^{エフエ}
 ス^{エフエス}五^{エフエス}ノ^{エフエス}而シテ身ハ之ニ聯絡セラレ鞏固セラレ長養セラル
 二十^{エフエス}三^{エフエス}而シテ身ハ之ニ聯絡セラレ鞏固セラレ長養セラル
 、ナリ^{エフエス}二十^{エフエス}五^{エフエス}十六^{エフエス}十^{エフエス}此ノ如キ首ヨイエススハリストス有
 ルニヨリ一モ他ノ有形ナル會首ヲ須ツアラサルナリ教會
 ハ世々ノ人類ニ存在スルヲ得^{エフエス}三^{エフエス}ノ^{エフエス}六^{エフエス}且教會ハ天下萬國ニ
 居ル無數衆多ノ人ト天上ニ在ル無數衆多ノ聖者トチ己レ
 ニ抱合スル神ノ體トシテ人間中何人チモ其首ト爲ス能ハ

教會神立
ノ目的

ス凡ソ大ナル聖者使徒ト雖而己レヲ以テ唯教會ノ役者ト
 承認セリ^{コロス}廿^{コロス}四^{コロス}、^{コロス}二十^{コロス}五^{コロス}ノ
 〔三〕人チ救フカ爲メニ人体ヲ藉リシ主イエススハリストス
 教會ヲ立テタルハ衆人チシテ此ニ於テ永遠ノ救ヲ得セシ
 メンカ爲メナリ^{イオア}三^{イオア}ノ^{イオア}十六^{イオア}マ^{イオア}ハリストスノ聖教會
 ハ眞ニ神ノ目的ヲ達スルナリ教會ハ神ノ特旨ヲ全淨無壞
 圓滿ヲ以テ受ケテ之ヲ守リ之カ活潑眞正ナル講師トナリ
 衆人チイエススハリストスノ永遠ノ救ヒニ招キテ普世ニ
 福音ヲ報知シ母トシテ其諸体ヲ永生ノ爲メニ育シ「眞理ノ
 柱ト基ト」シテ^{タイモ}三^{タイモ}ノ^{タイモ}十五^{タイモ}前不信、疑惑迷謬ノ中ニ在テ衆人ニ

眞理ヲ指示ス救主ハ其建ツル所ノ機密ニ由リ聖神ヲ以テ
 既ニ立テ且立ツル所ノ牧者ニ頼リテ衆人ヲ聖ニシ永生活
 ニ誘導スルカ爲メニ緊要ナル諸恩賜ヲ其實藏トシテ教會
 ニ收藏セリ聖洗ニ頼リテ教會ニ入り痛解ヲ以テ之ト和ス
 ル者ハ謙遜、詳確、信誠ニシテ其教道規則ニ隨ハ、何人ヲ問
 ハズ無論ニ聖ヲ施スヲ賜ハリ蓋シハリストスハ教會ヲ愛
 シ之カ爲メニ己レヲ捨テ以テ之ヲ聖ニス〔エフエス五〕新ナル
 生命ト至聖ナル神靈ノ完全ト并テ永遠ノ救ヒトヲ受ント
 ス其賜ヲ所使徒有リ預言者有リ福音ヲ傳フル者アリ牧師
 教師アリ以テ聖徒ノ備ハルヲ得テハリストスノ体ヲ増進

教會ノ外
 ニ救道無シ

スルカ爲メニ服役ノ事ヲ行ヒ我カ衆神ノ子ヲ共ニ信シ共
 ニ知ルヲ待テ全人ヲ成シハリストスノ満足ノ量ヲ成ス〔エフエ
 ス四ノ三十一〕
 故ニ永遠ノ救ハ唯其首ハハリストスニシテ其造立ハ衆人
 ノ救ヒノ爲メナル教會ト眞實ニ和合シ之ト同心同意ヲ爲
 シ之カ誠命定規ニ從順スルヲ以テ得ヘンシテ凡ソ救ヲ得
 ンヲ願フ者ハ必ス聖洗ニ頼リテ教會百体ノ一トナラセ
 ルヘカラス人ハ水及ヒ聖神ニ由テ生ル、ニ非サレバ神ノ
 國ニ進ム能ハス〔イオアン三ノ五〕若シ誰カ教會ニ聽カサレハ則チ
 之ヲ視ル異教人ト稅吏トノ如クスヘシ〔マコフエ十〕福アウ

グステイン曰ク「ハリストスノ百体ノ中ニアラサルモノハ」ハ
 リステアコン」ノ救ヲ得ル能ハズ以テ己レヲ尊貴ニスルヲ
 得可ク以テ機密ヲ受クルヲ得可ク以テ「アリルイヤ」譯ハス
 神ヤ爾ヲ」ヲ誦スルヲ得可ク以テ「アミン」譯スレハ實ニ是ナ
 心ヲ合スルヲ」ヲ答フルヲ得可ク以テ福音經ヲ持スルヲ得
 見ハスノ詞」ヲ答フルヲ得可ク以テ傳教スルヲ得可
 シトイヘ正公教會ニアラスンハ何處ニモ救ヒノ道ヲ獲
 ル能ハス」ドナトノ異端ヲ闢聖致命者キブリアン曰ク「教會
 ト一致シテ切實ナル交際ヲ守ラサル人ハ縱令ハリストス
 ノ名ヲ信認ノ爲メニ己レヲ死ニ付スト雖モ其罪ハ其生血

教會合成ノ事

ヲ以テモ洗淨セス消拭スヘカラサル分裂ノ重罪ハ難ク受
 ルモ猶潔クセス教會ノ外ニ在ル者ハ致命者トナル能ハス
 天國ノ權ヲ有スル教會ヲ棄ツル者ハ天國ヲ享有スル能ハ
 ス」ハリストス教會
 〔四〕教會ハ信者ノ社會トシテ實ヨ之ニ屬スルニツノ要款ヲ
 存ス乃チ見ユルト見エサルノ社會ナリ
 教會ノ見エサルモノ即チ精神ハ聖神ノ恩寵ナリ教會ノ全
 体合成ニモ各自ノ信者ニモ效感スル所ノ者ハ見エスシテ
 奧密ナリ其首タルイイススハリストスカ其奧密ナル体即
 チ教會ニ分與スル諸々ノ神恩、特ニ信、望及ヒ愛ト奇蹟、預言

教會ハ乃チ不可見ノ社會ナリ

教會ハ乃
ナ可見
ナリ
社會ナリ

ノ恩典ハ見エサルノ一方ニ屬ス
 此ノ如ク見エサル教會ノ事ノ意味ハ聖書ニ於テ之ヲ見ル
 聖使徒パウエル教會ヲハリストスノ活身ト名ツケ神ノ室ト
 名ツク<sup>エフエス四ノ十五、十六、コロス一ノ十八、廿四、コリン
 前書十二ノ廿七、テモフイ前書三ノ十五、エウレイ十
 十一、</sup>唯正教ノハリストス^{テアコン}ニシテ實ニ靈ト神トニ屬ス
 ルノ生命ヲ以テ活在シ聖神恩寵ノ助ケニヨリテ永生ノ果
 テ結フ者ハ教會ノ活肢活体ト認ムベシ
 教會ハ獨リ見エサル神靈ノ社會ナルノミナラス見ユルノ
 社會ニシテ其見ユルノ一方ニ依レハ合宣ナル規程秩序ニ
 ヨリテ勻和スル正教信者ノ整然タル集合ニシテ互ニ親密

ニ結合セラレシ百体ヨリ成立スル活ケルノ体ノ完全ナル
 者ナリ主イエススハリストスハ其門徒ノ見ユル社會ヲ立
 テ五旬節日ニ於テ聖神ハ耳目ニ觸感スル見ユル形狀ヲ以
 テ一場ニ相會シ一心一意ヲ成ス所ノ門徒ニ降レリ唯深奥
 見エサルヲ以テ來格スルハ其欲スル所ニアラス^{コトハ}言カ肉身
 ト成リシ如ク聖神モ是ノ如ク五官ノ爲メニ近接スヘキ形
 狀ヲ以テ奮迅ノ風ノ如ク爽然トシテ天ヨリ聲アリテ降レ
 リ^{行實ニ}イエススハリストスハ見エサル恩寵ヲ授ケンカ
 爲メニ見ユル牧者ト見ユル聖事ト見ユル機密トテ教會ニ
 立定セリ此ノ如クハリストスハ見エサル教會ノ機關ナリ

教會ノ合
成ニ屬ス
ル「ハリス
ト」アリ
テ「アコ
ソ」アリ

表出タル見ユル教會ヲ建テタリ
衆人ヲ永遠ノ救ニ誘導スル教會ノ主義ニヨリテ唯聖者ノ
ミナラス罪人モ其合成ニ屬スルヲ見ユルナリ主イエイス
ハリストスハ教會ニ其言ヲ傳ヘ機密ヲ行ヒ迷謬者ヲ釐正
シ悔改ニ由テ罪人ヲ革新シ其固執ナル敵ヲ退ケ信者ヲ治
ムルヲ本分ヲ任セラレタリ若シ教會ハ獨リ聖者ヨリ成
リ立タハ此本分ヲ行フヲ能ハサラントス且如何ナル人ハ
教會ニ屬ストノコモ亦全ク知ル能ハス蓋シ唯一ノ主神ノ
ミ其己レニ屬スル者ヲ知ルナリ
〔テ「モ」フ「エ」イ「後」
書「二」ノ「十」九〕
教會諸父ハ常ニ此ノ如ク教ヘノワト及ヒドナトノ異端ヲ

責ノタル聖キブリアン及福アウグスティンハ特ニ此ノ如ク
ニ教フ

東總主教曰「我レ信スルソ我等ハリストスヨリ使徒及ヒ公
會ヨリ受ケタル救主ハリストスノ純全無雜ナル教ヲ疑ハ
スシテ表認スル信者中縱令或ハ種々ノ罪ニ伏セラレシ者
アリト雖モ公教會ニ屬スル者ナルヲ、、、、、彼等ハ罪ニ
伏セラル、ト雖モ唯背教者トナラスシテ正公教會ノ教ヲ
保持シテ失ハサル者ナレハ存シ且認メテ正教會ノ人ト爲
スナリ」〔正教ノ「一」章〕
然レモ罪人ハ咸ク教會ニ屬スルコアラズ

ニ教會ニ屬セサルヲ加ヘサルヘカラス然レハ彼等ノ中
自ラ明ニ教會ヨリ分離セス或ハ教會ノ退クル所トナラザ
ル者ハ神ノ冥鞠ヲ以テ既ニ教會ヨリ除カレシナルヘシト
雖モ教會ニ屬セサルモノト認メス

神位ノ要
重ナルヲ

〔五〕神ハ使徒ノ職ノ秩序ト繼續トテ教會ニ守ランカ爲メニ
神品若クハ神位イニラヒヤヲ設立セリ教會ハ牧者ト被牧者ト教者ト
被教者トヨリ治者ト被治者トヨリ聖ト成ルヲ與フルモノ
ト之ヲ求ルモノトヨリ成リ立ツナリ教會ハ神位若クハ合
宜ニ之ニ屬シテ國民法ト分異スルノ聖治アルニアラサレ
ハ存在スル能ハス神位アラスハ教會ニ於テ如何ナル秩

神位及ヒ
之カ來由
ノヲ

序モ教導モ聖事モ治理モ有ルヲ能ハスシテ神位ノアラサ
ルハリスチアアノンノ社會ニ於テ明々ニ見ル如ク紛紜錯雜
決裂ノミナラントス
神位若クハ神品ハ人ヲ教フルカ爲メ教會ノ聖事ヲ行ヒテ
之ヲ治ムルカ爲メ神カ教會ノ中ニ定メラレシ監督及聖役
者ノ職位品級ナリ

イニススハリストスハ萬民ノ爲メニ機密ヲ行ヒ聖洗ヲ授
ケ福音ヲ傳ヘマトフェイ十六ノ十九、十八ノ十八廿八其賜フ
所使徒アリ預言者アリ福音ヲ傳フル者アリ牧師教師アリ
前書エフエス四ノ十一至十三コリンフ教會ヲ治ムルノ權ヲ唯使

徒ニ與ヘタリ「爾當ニ自ラ慎ムヘシ亦全郡ヲ慎メ即チ聖神
 爾ヲ立テ主教ト爲シ主神カ己レノ血ヲ以テ獲ル所ノ教會
 テ牧セシムル者」〔行實廿ノ廿八ベ一〕「身体ニ於テ一ハ首ト爲
 リテ司治シ一ハ首ノ指令ヲ以テ治メラル、如ク教會ニ於
 テモ神ノ立定ハ彼此最相便トスルカ爲メニ一ハ被牧者ト
 ナリ管下トナリ一ハ牧者トナリ教師トナリテ教會ノ造立
 スルチ成ス而シテ他ニ於ルノ關係ハ身ノ百体ノ如クニシテ
 靈魂ノ軀體ニ於ル智ノ靈魂ニ於ルト同キ關係ヲ有シ彼此
 ノ有餘不足ハ互ニ相補ヒ相和シテ一ノ渾全ヲ致シ結合ス
 ルニ靈ノ同盟ヲ以テシテ實ニ我等ノ首ナルハリストスニ

神學者グリゴリイ
 說教第三主教及ヒ

應スル完全ナル一體ヲ顯ハスモノナリ
 司祭職ノ要
 重ナルヲ

第六全地公會規則六十四ニ曰ク「民ノ前ニ講說シ若クハ教
 導シ因テ師タルノ尊チ己レニ取ルコトハ俗人ニアルヘキニ
 アラス俗人ハ主ヨリ交付セラレシ品級ニ順フヘシ」

神位ノ品
 級及ヒ各
 品ノ權ト
 職トノ

神立ノ品位ニ三等アリ主教ヲ第一上等トシ長老即チ司祭
 チ第二次等トシ其下第三ハ輔祭ノ等ナリ教會ハ常ニ自ラ
 此三ノ班位ヲ有シテ神立ト見認メリ
 羅馬ノ聖クリメントカコリンブ人ニ達スル前書四十章ニ
 曰ク「主教ニハ主教ノ職ヲ與ヘラレ司祭ニハ司祭ニ屬スル

ノ職位ヲ命セラル捧主者聖イグナタイ曰ク「人皆輔祭タイ
イススハリストスノ誠命ノ如ク主教タイイススハリスト
スノ如ク神ノ子ノ如ク司祭ヲ神ノ集會ノ如ク使徒ノ一群
ノ如クニ尊敬スヘシ彼等ナクンバ教會コアラズ」タラリ人
コ達スル
書三

主教ハ本ト監督ノ意ナリ彼レハ其己レニ屬スル教會ニ於
テ世人ノ爲メ及聖役者ノ爲メニ上等ノ師ナリ東ノ
總ノ
主教
正
書

十章

司祭ハ手撫ノ禮ニヨリ主教ヨリ教授スルノ權ヲ受ケ同
上
切ノ事ニ於テモ教導ニ於テモ常ニ主教ノ監督ト議決トニ

從屬ステ
イ
モ
フ
エ
イ七使徒規則三十九ノ十

輔祭ハ教授スルコトヲ許容セラルベシ此レステファン及ヒフイ
リアノ例ニヨリテ見ユ行
實
六
ノ
八主教ハ聖神ノ恩寵ニ循
ヒ其己レノ教會ノ第一ナル奉務者ニシテ聖機密ノ第一ナ
ル行爲者ナリ東
總
主
教
正
教捧主者聖イグナタイノ書ニ曰
ク「主教若クハ主教カ自ラ任スル所ノ者ヲ以テ行爲スル聖
體機密ノミ眞トシ視ル可シ主教ノ在ル處ニ民モ其處ニア
ルヘキハハリストスノ在ル處ニ公教會モ其處ニアルト同
キナリ主教アルナクンハ聖洗ヲ授クルコトモ愛ノ晚餐ヲ行
フコトモ許カレス但主教カ善ニスルコトハ神モ之ヲ悦フナリ」

〔六〕
ミルルナ
スル書八章

司祭ハ神品手撫ノ禮ト香膏及寶坐アンライミン即チ代案アンライミンヲ聖ニスル
ノ外ハ手撫ニ於テ與ヘラレシ權利ニ依リ聖事ヲ行フノ權
ヲ有ス

〔三〕ノ行爲ハ唯主教ノミ之ヲ行フナリ主教ノ外司祭ハ一モ
行フ不能ハサルナリ第一美膏ヲ聖ニスルヲ第二祭臺及ヒ
堂ヲ聖ニスルヲ第三神品ノ手撫ノ禮ナリ〔禮拜堂ヲ聖ニスル儀式書〕
機密ヲ行フノ權ハ輔祭ニ與ヘラレス輔祭ハ唯機密ヲ行フ
ノ時服事シテ司祭ニ補助スル者ナリ
主教ハ己レニ屬スル教會ニ於テ上等ノ管理者ナリ〔行實二〕

〔八〕屬下ノ神位及ヒ教衆モ其全牧ニアルノ世人モ同ク其裁
決監督ニ從フ凡ソ教衆ニ屬スル者ハ教會ニ於テ主教ノ降
福ナクシテハ一モ行フ不能ハサルナリ〔使徒規則卅五、卅九〕
五十七カルフアゲン會規則六、四十二、五十一アソテ、オヒ
ヤ會規則九ハルキドン會規則八サルド會規則十三縛キ
且釋ク〔罪ヲ〕ノ權ハ特ニ主教ニ屬ス司祭ハ己レノ主教ノ許
可ナクシテハ一モ行フヘキ所アラズ〔使徒規則三十九〕其任セラレ
シ一群ニ對シテ縛キ且釋キ及ヒ之ヲ治理スルノ權ヲ有ス
ルモ他無シ主教ノ降福ト允准トニヨルナリ〔ラオデ、キヤ會規則五十七〕
彼等ハ教會ノ役者ノ行狀ヲ監視シテ之ヲ申稟ス〔大規則八〕
九十

輔祭ハ信者ニ對シテ神靈上ノ權チ一モ自ラ有セザレト主
教ノ許可ニ依リ司祭ノ委任ニ循ヒテ教會ノ事ヲ行フヲ得
ルナリ

主教ハ使徒ノ合例ノ後任代職ニシテ其權ハ使徒ノ權ト同

様ニシテ神出ナリ聖キプリアン主教ノ品級ヲ父^〇ヲ生^〇ムノ

品級ト名ツク〔書札七十五ノ三〕捧主聖イグナティイノ言ニ依

ルニ教會ニ於テ一モ此品級ヨリ尊キモノアラス〔スミルナ
人ニ達ス〕

九章〔書〕東總主教ノ書ニ曰ク「主教ハ地ニ在テ神ノ活像ナリ且

聖神ノ聖ヲ施ス力ニ依リ公教會諸機密ノ旺盛ナル源泉ナ
リ救ハ之ヲ以テ得ラル故ニ人ノ爲メニハ呼吸世界ノ爲メ

ニハ太陽ノ無ルヘカラサル如ク教會ノ爲メニ極メテ緊要

ナリ〔正教十章〕聖キプリアン曰ク「主教ハ教會ニ在リ教會モ

主教ニ在リ主教ト合通セサル者ハ教會ニ在ルニアラス〔書
札〕

六十九
八章

主教ニ屬スルノ教會ニ於テ最上ノ權ハ唯其管轄ニ限ルナ

リ一ノ管轄ノ外ニ及ホス教會ノ權ハ全州ヨリスル主教ノ

集會ニ歸シ教會ニ於テ無上ノ權ハ可成全世界ヨリ召ハル

、主教ノ集會ニ歸ス教會ノ規則ニ從テ召ハレタル或州主

教ノ集會ハ地方公會ナリ〔第一公會
規則五〕

此ノ如キ集會ハ昔時ハ毎州年ニ二次アリ〔使徒規則廿七、第
一公會規則五、第

教會ニ於
テ至高上
等ノ權

四公會規 則十九 規シカ後ニ至テ年ニ一次ト雖也必ス有ルヘキニ定

メヲレ・タリ 第六公會規則八、第七公會規則六、

地方公會ノ權ハ全州ニ及ホサル、ナリ 第二公會 其事務ノ

件ハ其州教會ノ諸事、主教ノ撰立、主教ヲ訴フル告狀ノ調査

及ヒ主教ヲ裁判スルコトナリ、地方公會ハ小公會ノ定メタル

所ヲ修整ス 教會規則書中地方會

教會ノ規則ニ照ラシテ可成天下ヨリ召ハレタル主教ノ

集會ハ全地公會ナリ、全地公會ハ公會ニ唯七次アリキ、全

地公會ハ獨リ或地方教會ノミナラス衆多ノ教會ノ事若ク

ハ凡ソ教會ノ衆多ノ主教ガ商議ヲ要スル所ノ者ヲ調査セ

リ此ノ全地公會ノ定決スル所ハ全教會ノ聲ト見認メサル

ヘカラス教會ニ於テ如何ナル權モ全地公會ヨリ上ナル者

アラス既ニアラス且アルヘキニモアラス全地公會ハ普世

ノ教會ノ真正審判所ナリ獨リ教會ノ諸事諸信者ノミナラ

ス主教モ總主教モバハ地方公會モ全地公會ノ權ト裁決

トニ從屬ス苟モ聽カサルニ於テハ教會ヨリ絶クレ、ノ恐

レアルヲ以テ總テ全地公會ノ定例規則ニ順ハサル可カス

救主曰ク若シ誰カ教會ニ聽カスンハ之ヲ視ルコト異教人ト

稅吏トノ如クスヘシ 八ノ十七

全地公會ノ重キハ神ノ重キナリ或疑惑ヲ決スルカ爲メニ

公會ノ重キ

初メテ公會ヲ成シタル聖ナル使徒等ハ明ニソノ公會ノ決
 ハ聖神ノ感シニ依テ確定スル所ナルヲ證ス曰ク「聖神我等
 ト決意ス」ノ行二十八故ニ凡ソ教會ノ信者ト凡ソ聖役者トハ
 公會ノ定法ヲ以テ啓示セラレタル眞理ノ表顯ト承認セザ
 ル可ラス公教會ハ常ニ此ノ全地公會ノ神ヨリスル重キヲ
 承認セリ教會ノ父師亦此ノ如ク教ヲ羅馬ノカ聖大グリ
 コリイ曰ク「全地公會ハ一般ノ合同ニ依テ成リシニヨリ其
 釋キシ者ヲ冒リニ縛ク者ハ何人ニ論ナク自ラ己レヲ廢ス
 ルナリ彼レヲ廢スルニアラズ」コンスタンティノイボリノ總
 コンスタンティン帝第一全地公會ノ事ヲ書シテ曰ク「三百主

眞教會ノ
 精明ナル
 表章

ハリスト
 スノ眞會
 ハ「ア」唯
 一ナリ

教ノ同心合意ナルヲ見ハス者ハ他ニアラス神ノ決定ト視
 サルベカラス矧ヤ之ニ神ノ旨ヲ默示スル聖神ハ若キカ濟々
 タル人ノ心ニ居ルアルニ於テチヤ「アレキサンドリヤ教會
 關ク書トル」一、二
 公會規則一、二
 「六」ハリストスノ眞教會ハ理ニ合ハスシテ冒リニ自ラ教會
 ノ名ヲ僭スル一切ノ社會ト殊ナル精明ナル表章ヲ有ス此
 表章ハ信經ニ指明セラレタリ曰ク眞教會ハ唯一、聖、公、使徒
 ノ教會ナリト
 眞教會ハ唯一ナリ何トナレハイイススハリストスハ唯一
 ノ教會ヲ造立セシニ因ルハリストスチ眞ニ信スル者ハ何

ノ時何ノ處ニ在ルモハリストスノ奧密ナル体トシテ
 十四^二一ノ無形心神ノ体ヲ成シ^{エフエス}ヨリ六^四至^ル救主ハリスト
 スノ獨一ノ首ヲ有シ^{エフエス}一ノ聖神ヲ以テ自ラ活動ス
 凡ソ萬國萬世眞教會ニ屬スル者ハ唯一ノ教法ト一旦同キ
 機密ヲ守リ唯一ノ法ト規トニ順ヒ唯一ノ聖傳ヲ保ツテ互
 ニ希望ト平和ト愛ノ合一ナルヲ守ルナリ凡ソイエススハ
 リストスヲ信スル者ハ信ト愛トノ獨一連合ヲ以テ合同ス
 ルアラソコヲハリストスハ其主祭タルノ祈禱ニ於テ自ラ
 之ヲ祈レリ曰ク皆一タルヲ致セ父ヤ爾ハ我ニ在リテ我ハ
 爾ニ在ル如ク此ノ如ク彼等モ我等ニ在リテ一タルヲ致セ

【イオアソ十七ノ十六参考】

聖イリチイ曰ク教會ハ全世界ニ散處基督ト雖ヒ一意一
 心一口ナルカ如クニ教ヲ守リ且信認ス大陽ハ全世界ニ一
 且同キカ如ク教ノ一同ナルハ何處ニモ輝キ萬民ヲ照ラシ
 テ眞智ニ誘導スルナリ^{異端ヲ闢ク書}一卷四十六章
 公教會ニ屬スル地方教會ニ於テ教會外面ノ秩序、私法、風俗、
 禮儀ノ各異ナルコトハ教ト信者ノ相愛ノ一ナルニヨリテ毫
 モ其一タルヲ害セザルナリ然レモ一ノ禮儀ト典籍トニヨ
 リ且一ノ所謂古教ナル者ニヨリ種々ノ爭論ノ有ルアリテ
 各教會ノ子カ互ニ彼此ノ怨恨ニヨリ互ニ彼此ノ和氣ヲ有

ルカ 聖ナ

セズシテ各様ノ宗派教門ニ分裂セハ此ノ如キ教會ハ稱シ
 テ唯一ト爲ス可ラス
 眞教會ハ聖ナリ何トナレハ其造立者タリ且其首タル聖ノ
 聖ナル主イエスマスハリストスハ神タルノ教ト苦ト死トチ
 以テ之ヲ聖ニセシニ因ル且恒ニ祈禱ト聖機密即チ聖神恩
 寵ノ源泉タリ并ニ人ヲ聖ニスルカ爲メノ方法タルモノヲ
 以テ聖セラレ且實ニ聖ナルノ人特ニ奇蹟休兆ヲ以テ神ノ
 榮ヲ被フル衆多ノ人ナ有スルニ因ルナリ潔淨無玷ヲ以テ
 光照セル童貞者ノ無數ノ表率ト怕ルヘキ苦難ノ中ニ在テ
 己レニ大勇ヲ顯ハシ死ニ至ルマテ變セザル信ノ堅キヲ見

ハシタル致命者ト信認者ノ算フ可ラサル群衆アリ嗚呼使
 徒福音傳教者及ヒ教師ノ至聖熱心ナル奇々妙々ノ功勞ハ
 幾許ヅ教會ノ中保ニヨリ罪ヨリ德行ノ途ニ轉シ來リシ者
 ノ驚歎スヘキ悔改ノ行ハ幾許ヅ萬世衆民凡ソ「ハリステア
 ニン」タル者ノ身ヲ捨テ愛ヲ行フノ諸功勞ハ擧テ算フル能
 ハサルナリ衆人ノ前ニモ明々ニ教會ノ聖ナルヲ證スル
 不朽聖尸ハ幾許ヅ使徒パウエル曰クハリストスハ極メテ教
 會ヲ愛セシニ因リ「之」教會「カ」爲メニ己レヲ捨テ、以テ之ヲ
 聖ニシ水ノ洗ニ於テ道ヲ以テ之ヲ潔クシ之ヲ己レカ前ニ
 立テ無染無皺并ニ其類無キノ榮會ト爲サント欲ス乃チ聖

【サ】公ナル

コシテ無玷ナル者ナリ【エフエス五ノ廿五至廿七】
 然レモ教會ハ獨リ聖者ノミナラス凡ソ其教ヲハリストス
 ヨリ使徒及ヒ聖ナル全地公會ヨリ受ケシ如ク純然潔清ニ
 全ク疑ハスシテ信認スル者ハ縱ヒ其中ニ或ハ種々ノ罪ニ
 服スル者アリト雖モ教會ニ屬スル者ト爲シ且承認スルナ
 リ
 眞教會ハ公ナル若クハ一般【普世】ナルナリ教會ハ時ト地ト
 其附屬スル民ノ異ナルニ依テ自ラ易ハラヌシテ其起初以
 來連綿ト存在シ且世末ニ至ルマテモ何レノ地何レノ時ニ
 論ナク衆民ニ存在スルヲ得ントス【爾等普天下ニ往キ福音

【タ】使徒ナル

ヲ萬民ニ傳ヘヨ【マルク十五】「聖神爾ニ臨メハ爾ハ將ニ能ク受
 ケテ我カ爲メニ證テイエルサリムニ作シイウデヤサマリ
 ヤニ徧クシテ地極ニ至ラントス【行實一】
 眞教會ハ使徒ナルナリ何トナレハ教會ハ神ノ建造トシテ
 イイススハリストスノ外ニ他ノ基ナ有セズ【コリント前書
 三ノ十一】
 ト雖モ諸使徒預言者ノ教ヲ以テ確定セラレテイエススハ
 リストスヨリ直チニ賜ハリシ教訓、恩典及ヒ權ニ依リテ完
 然ノ整齊ヲ聖使徒ヨリ受ケタレバトリ「諸使徒預言者ノ基
 上ニ建テラレ其隅ノ首石ハ乃チイエススハリストスナリ」
 【エフエス二】「教法、聖治、特許及ヒ凡ソ神立ノ秩序ハ使徒ヨリ今

ニ至ルマテ教會ニ於テ不斷不易ニ保全ス神位ノ恩寵ノ流
 レハ使徒ヨリ起リ手撫セラレ、ノ主教ニ神ノ才能ヲ傳フ
 ル嗣々相接スル手撫ノ機密ヲ以テ不斷不易ニ人ヨリ人ニ
 世ヨリ世ニ綿々トシテ相連ル即チ今ニ至ルマテ主教ニ活
 在シテ教會ニ効用スルモノナリ因リテ溯リテ使徒ニ至ル
 マテノ前任ガ有シタル恩寵ト權ト其特許トハ主教各々之
 ナ領スルナリ主教ハ此具足ヨリ下級ノ神位ノ爲メニ緊要
 ナル神品ノ恩寵ヲ應分ニ給與スルナリ
 聖イリネイ曰ク「真理ヲ知ラント欲スルモノハ何レノ教會
 ニテモ全世界ニ宣セラレ、使徒ノ傳ヲ見ルベシ我等モ使

徒等ガ教會ニ立テシ所ノ主教ト其後任ノ我等ニ至ルマテ
 ノ者ノ名ヲ稱擧スルヲ得ルナリ」〔異端ヲ闢ク書三卷〕
 「三章及ヒ二十四章」
 イリネイ又曰クハリストス及ヒ聖神ノ恩寵ノ交感合通ト
 不朽ノ聯質ト信ノ剛健ト昇リテ神ニ達スル階梯トハ教會
 ニ於テ保守ス何トナレハ聖書ニ云フカ如ク神ハ使徒、預言
 者、教師〔コリント前書〕及ヒ凡ソ屬神ノ工ヲ教會ニ置カレタ
 レハナリ蓋シ教會ノ在ル處ニハ聖神モ亦其處ニ在ルナリ
 所以ニ教會ニ存在シテ使徒以降繼接ノ權ヲ以テ連綿ト相
 承ケ主ノ恩澤ニ依リ主教ノ繼續ヲ以テ聖神ノ眞賜ヲ領シ
 タルノ諸牧者ニ順ハサル可ラザルナリ」〔異端ヲ闢ク書四卷〕
 「廿六章六十三章」

眞教會ノ表章ハ正教會ト名ツクル東教會ノ得有スル所ナ
 リ東教會ハハリストスノ神ノ教ノ始ヨリ今ニ至ルマテ常
 久不斷ノ合同和氣ニヨリテ虔誠精微ナル神授ノ教ノ定理
 ナ不壞不傷不易不變ニ如何ナル新奇ナモ挿入スルナク一
 モ増ス所ナク一モ減ラス所ナク受ケテ之ヲ守リ且其守ル
 モノヲ同ク保持シテ教ヘ且行フナリ東及ヒロシヤ教會ニ
 於テ奇才異能ノ豊富ナルト神ニ悦ハル、聖人ノ衆多ニシ
 テ其行爲スル奇蹟ノ無數ナルト神ノ寵人ノ不朽聖尸ト世
 界各國及ヒ各種ノ民中ニ自ラ神子ヲ獲ルコトノ斷エサルト
 ハ正教會ハ神ナル首主イエイススハリストスヨリ不斷ニ聖

神ヲ以テ活動セラル、者トシテ神ノ生命ヲ以テ既ニ活キ
 且活シルコトヲ炳トシテ證スルナリ故ニ唯東總主教ト一タ
 ルヲ守リ若クハ新ニ一トナル「ハリスタアコン」ノ社會ハ眞
 ノ正教ナリ故ニロシヤ教會ハ眞ノ正教會ナリ何トナレハ
 己レノ母タル東教會ニ對シテ大ナル敬重ト愛ト從順トナ
 會テ守リ今且之ヲ守ル即チ昔ハリストスノ教ト教會ノ聖
 治トヲ受ケシ以來始終之ト合通スルノミナラス信ト愛ノ
 親密ナル一致ニ於テモ既ニ之ニ居リ且居レハナリ
 【七】主イエイススハリストスハ其教會ニ特別ノ秀出ヲ與ヘリ
 【ア】存在ノ動カサルコトナリ【カ】教法ニ錯リナキコトナリ【サ】治理

ノ權ナリ

〔ア〕教會ノ動カサルコトハ其存在ハハリストス及ヒ其使徒カ
 堅立シタル秩序ト其固有トヲ以テ永續シテ世末ニ至リ神
 ノ恩寵ハ必ス耗尽スルナク機密ハ尽ク行ハレテ世ノ終リ
 ニ至ラントスルニ在リ〔一ノコリソフ前書十〕信經ニ説明セラレシ
 表章ニ依ルニ教會ハ萬世ニ亘リ明白且信誠ニシテ自ラ不
 正ヲ以テ名ツクル社會ト異ナルヲ得ルナリ
 〔カ〕教會ノ錯リナキコト即チ教會ノ爲メニ悞リテ信シ或ハ悞
 リテ教フル能ハサルコトハ教會ノ動カサルコト密着連合ス
 ルナリ教會ハ必ス無知ニ依リテ錯マルコト能ハズ何トナレ

ハハリストスノ心ハ其中ニ在レハナリ〔書二ノコリソフ前〕心怯氣

小ニ依テ偽教ニ服従スルコトモ亦必能ハス何トナレハ聖神
 ノ力ハ此ニ活在スレハナリ

教會ノ動カサルコトモ錯マル能ハサルコトモ共ニハリストス
 ヨリ與ヘラレシ允許ニ據ル曰ク我カ會ヲ建テントス地獄

ノ門之ニ勝ツ能ハス〔六ノマトフエイ十〕ト即チ是レ如何ナル引誘

モ異端モ教會ノ敵ノ強壓モ虐使モ必ス之ニ克ツコトヲ得ズ
 敵ノ如何ナル窘逐モイイススハリストスカ自ラ確定シ

タル所ヲ壞ラズ視ヨヤ我レ常ニ爾等ト偕ニ世ノ末ニ至ラ
 シ〔廿八ノマトフエイ〕聖金口曰クハリストスハ唯使徒等トノニ偕ニ

スルニアラス凡ソ使徒ノ後ニアリテ信スル所ノ者ト借ニ
 スルナリ【マトフエイ】章廿節【廿七】【イイススハリストスハ教會ノ首ト
 シテ之ニ居リ己ノ不朽ノ性命ト堅固トヲ賜フ【コロス一
 ヌフエス】四【我將ニ父ニ求メントス彼レ必ス更ニ保惠師ヲ以
 テ爾ニ賜ヒ爾ト借ニ永ク居ラシメントス】五【イオアソ十】聖神
 ハ何レノ事ニ於テモ常ニ其恩寵ヲ以テ教會ニ臨在シ未タ
 曾テ放任シテ守護スルナクシテハアラス彼レハ牧者ヲ立テ
 【行實廿】諸眞理ニ導キ【イオアソ十】聖善ヲ賜ヒ【ガラテヤ五ノ
 ノ廿八】奇異ナル賜ヲ以テ之ニ授クルナリ【コロソフ前書十二ノ
 シリヤノ聖エフレム曰ク信者ノ教會ヤ爾ハ福ナリ王ノ王

ハ爾ノ中ニ其居ヲ定メタレハナリ爾ノ基ハ常ニ動カサレ
 ズ主ハ爾ヲ護ルニヨル地獄ノ門モ爾ニ勝ツ能ハス險惡ノ
 狼モ爾ノ勢力ヲ折ク能ハサラン嗚乎如何ナル大ヅヤ爾ハ
 神ノ室ナリ吁爾ハ如何ナル美ヅヤ【ワルデサンノ
 異端ヲ闢ク詩】
 【サ】天地ニ有權ナル主イイススハリストスハ【マトフエイ】廿
 八ノ十八】其
 教會ニ信者ヲ治理シ其行ヲ監視シ法ヲ出シテ其犯者ヲ罰
 スルノ權ヲ賜ヘリ使徒パウエル曰ク我レ若シ更ニ主カ我ニ
 賜ヘル爾ノ益ヲ致シ爾ノ害ヲ致スニ非ル所ノ權ニ誇ルモ
 亦愧ルコトナシ【コロソフ後】使徒等ハ此ノ權ヲ使用セリ【行實
 六ノ廿一ヨリ三ニ至ル】使徒ノ後任後職ハ亦各々異ニ或ハ公

會ニ合シテ此權ヲ使用セリ彼等ハ教會ノ秩序ノ爲メ及ヒ其犯者ヲ處スルカ爲メニ種々ノ規則ヲ設立セリ

〔二〕機密ノ事

機密ノ一

ハリストス教會ノ機密ハ神ノ立定セル聖行爲ニシテ定然見ル可キ外儀ノ裏面ニ於テ見ユズシテ聖神ヲ以テ施シ合例ノ牧者ニ因テ授ケラル、神ノ恩寵ノ典ヲ信者ニ領セシメテ義ト稱シ聖ヲ得セシムルモノナリ

機密ヲ立ル源由

機密ヲ立ツルノ源由ハ無形ニシテ有形ナル人ノ天性ニ在リ金口曰ク「若シ爾ハ無形ナラハハリストスハ無形ヲ以テ爾ニ此恩典ヲ交與セン但爾ノ靈魂ハ形体ト合セルニ因テ

五官ニ覺知スル者ヲ以テ無形靈上ノ者ヲ爾ニ交與スルナ

リマトフェイ廿六章イイススハリストスハ人ニ罪ノ放釋、聖

神ノ恩寵ヲ允許シ其允許ノ保信スベキ不易ノ聘質トシテ

恩寵ノ賜ノ外感ニ屬スル表記ヲ立テタリ「ハリステアコン」

ハ機密ニ因リ不信者ト異ニシテ公然ト其信ヲ表ス其公中

ノ關係ニ賴リ相愛ヲ以テ彼此互ニ活動シ獨リ今世ノミナ

ラス永遠ノ生命ノ爲メニ之ヲシテ一ノ奧密ナルハリスト

スノ体ニ網綁セシムル至聖ナル綱ヲ以テ愈々益々親密ニ

相合スルナリ凡ソ信者ハ機密ニ賴テ神ナル代求者ニ合シ

テ之カ一體ト爲ル即チ彼レハ其神ナル能力ト生命トヲ以

機密ノ數

機密ノ爲ニ緊要ナル定規

テ信者ニ居リ信者モ彼レノ同生命同能力ヲ以テ彼レノ中ニ居ルナリ

公教會ハ七機密ヲ承認ス此機密ハ聖洗、傳聖膏、聖體、痛解、神品、婚配、聖傅ナリ

機密ヲ行フカ爲メニ緊要ナル者ハ「第一」之ニ恩寵ノ能力ヲ結合セシムル定然見ル可キノ表記(物料)ナリ「第二」聖神ヲ祈求スルヲ及ヒ或言式即チ聖事ヲ務ル者カ機密ヲ成ス所ノ者ナリ「第三」合例ノ機密行爲者ナリ「正教宗鑑第一」「第四」神立ナルコトナリ

合例ノ機密行爲者

合例ノ機密行爲者ハ例ニ合フテ立テラレシ主教及司祭ナリ

リ聖金口曰ク「爾地ニ縛ク所ノ者ハ亦必ス天ニ縛カレ爾地ニ釋ク所ノ者ハ亦必ス天ニ釋カル」
マトフエイ 十八ノ十八
 エウレイ 五ノ一 参考ト

此言ハハリストス之ヲ天使ニ告ルニアラス人ニ告ルナリ

司祭職ノ一ノ講説第三

主教ハ機密ヲ尽ク行フヲ得ベシト雖モ司祭ニハ神品ノ機密ヲ行フト傳聖膏機密ノ爲メニ膏ヲ聖ニスルコトノ權ヲ與ヘラレズ輔祭及ヒ教衆世人モ主教ニ禁セラレタル司祭モ機密ヲ行フノ權利アラス

機密ノ神聖ニシテ且要重ナルハ機密ノ行爲者ノ敬虔ナラント要スルハ當然ナリト雖モ有罪ノ司祭ニシテ其罪ハ縱

聖禮ヲ務ムル者ノ不當ナルハ機密ノ

令顯然タルモ若シ教會ノ規則ニ從テ行ヘハ其行ヒシ機密
ハ其能力ヲ有スルナリ何トナレハ機密ノ能力靈驗ハ行爲
者ノ信ト敬虔トニヨラズシテイイススハリストスノ功德
ト恩寵トニ屬スレハナリ神學者聖グリゴリイノ書ニ曰ク
「何人ヲ問ハズ唯此權ヲ受ケシ者ノ數ニ在リ明ニ罪セラレ
テ教會ヨリ退ケラレシ者ニ非レハ爾ヲ聖ニスルニ足ル、
ト信ズベシ須ク左ノ如ク思量セヨ金鐵ニ戒指アリ二物ニ
同一ノ王像ヲ刻シコレヲ以テ蠟ニ印センコイツレカ異ナ
ルアリヤサヲニ異ナルコト莫キナリ爾ハ若シ衆人ニ勝レル
智アラハ蠟ニ印セシ物ヲ查識シテ言ヘ孰レカ鍍印ニシテ

孰レカ金ノ戒指ナルカ何ニ由テ一様ナル夫物ハ各々異ナ
リト雖圖ニ於テ分別無キハ何ンヤ噫爾ノ授洗者モ何人ヲ
問ハス乃チ亦然ルアルヘキノ理ニアラサランヤ何トナレ
ハ躬行ニヨレハ一ハ他ニ超越スルアルモ聖洗ノ能力ハ均
ク相等シ〔説教四十〕
凡ソ機密ヲ受クル者ヨリ信ト悔改ト虔恭ヲ以テ機密ニ就
クトト機密ヲ受ルニ堪フルノ力トヲ要シ或機密ヲ受クル
カ爲メニハ年齢ト男女ノ定マリアルヲ要スルナリ此ノ如
ク聖洗、傳聖膏及ヒ聖体ノ機密ヲ受ルハ男女老幼共ニ緊要
ニシテ痛解ノ機密ハ凡ソ七年以上ノ者ヨリシ聖傳ノ機密

ハ唯病者ニ授ケ女ハ神品ノ機密ヲ受ルヲ得ス唯其智識徳
 行ヲ有シ教會規則ノ要スル年齢アリテ此ト相照ラシテ撰
 ハレン男子ニノミ授ケラル、ナリ婚配ノ機密ハ教會及ヒ
 政府ノ規則ヲ以テ定メラレタル年齢ヲ有スルノ男女兩人
 ニ施サ、ルナリ必ス死者ニ機密ヲ施スベカラズ第六公會規
 則八十三カ
ルフン會
 規則二十六

三 聖洗ノ事

聖洗機密
ノ一

聖洗ハ機密ナリ即チ正教ヲ受ル者父及ヒ子及ヒ聖神ノ名
 ニ依ルトイヘル機密行爲者ノ發言ニ因テ三次水中ニ浸没
 シテ諸罪ノ赦シテ受ケハリストス教會ノ肢ト爲ルモノナ

リ

聖洗ノ機密ハイイススハリストスノ自ラ立ツル所ナリ彼
 レ使徒ニ告テ曰ク「往テ萬民ヲ教ヘ父ト子ト聖神ノ名ニ依
 テ洗ヲ施スベシ」マトフイニ
 十八ノ十九此機密ヲ立ツルノ前ニ主ハ先
 ツ之ナイオアンヨリ受ケ其摸範ヲ以テ洗ヲ聖ニセリ其時
 聖神ハ鳩ノ如ク其上ニ降臨シ天開テ神父カ之ニ語ルノ聲
 聞エタリマトフイニ
 カ三ノ廿ニ廿ニイオアン一ノ三十一至三十四聖
 使徒等ハ衆人ニ聖洗ヲ受ルヲ勸メ行實
 一、九ノ十七、十八而
 シテ主イイススハリストスヲ信セシ者ニ洗ヲ授ケタリ實行
 八ノ卅八、十ノ四十四、四
 十八、十六ノ十五、二十三

聖洗ニ頼
テ賜與セ
ラル、恩
寵

〔一〕人ハ聖洗ニ頼テ初祖遺傳ノ罪モ洗禮ノ前ニ自由任意ニ依テ自ラ傲セル罪モ同ク赦ヲ受ケテ永遠ノ救ヲ得ルナリ

〔爾曹各宜ク悔改スベシイイススハリストスノ名ヲ奉シ洗ヲ受ケ罪赦ヲ得ルヲ致セハ將ニ聖神ノ賜ヲ受ントス〕〔二〕行實ノ

〔三十〕信シテ洗ヲ受クル者ハ救ヲ得〔マルク十六ノ十六イ〕

〔二〕人ハ聖洗ニ頼リ新生命ニ更生シテハリストスノ中ニ在リ〔コリント後書五ノ十七〕

〔エフェソ四ノ廿二至廿四〕ハリストスノ苦死ト功德ノ果實ヲ己レニ有シ怒リノ子ヨリ神ノ子トナリ聖神ノ恩典ヲ享クルニ堪フルナリ

ハリストスイイススヲ信スルヲ以テ爾ハ皆神ノ子タルヲ致ス凡ソハリストスニ於テ洗ヲ受ル者

ハリストスヲ衣ルナリ〔ガラタイ三ノ廿六、廿七、ロ一マ六ノ四參考〕

〔三〕人ハ聖洗ニ頼リ教會ノ肢體ト爲リテ之ト共ニ凡ソ教會ノ肢ニ屬スル所ノ特典ト其諸機密ニ與カルノ權利トヲ受ルナリ未タ聖洗ヲ受ケサル者ハ何レノ機密ヲモ領スルノ權利アル無シ神學者聖グリゴリイ聖洗ノ豊盛ナル菓實ノ事ヲ教ヘテ曰ク「聖洗ハ靈魂ノ照明ナリ生命ノ變化ナリ神ニ屬スルノ良心ヲ問フコトナリ」〔ペ一トル前書〕彼ハ我等カ劣弱ノ助ケナリ肉慾ヲ除クナリ神ニ就クナリ言ト合通スルナリ造成物ヲ改好スルナリ罪ヲ没シ光ヲ享ケ暗ヲ散スルナリ彼レハ神ニ昇ルノ車輪ナリハリストスニ同道スルナリ

リ信ノ鞏固心ノ齊備、天國ノ鍵ナリ身生ノ變化囚奴ノ放免
械繫ノ解脫合成ノ改造ナリ彼ハ神ノ恩典ノ至美至大ナル
者ナリ〔**說教四十**〕
〔**聖洗ノ一**〕

〔四〕聖洗ハ遂ニ之ニ由テ永遠ニ神ニ獻セラル、被洗者ニ銷
拭スベカラザルノ印ヲ誌スナリ是故ニ教會ノ規則ニ循ヒ
テ成セル聖洗ハ斷シテ復ビセス〔**使徒規則**〕
イエルサリムノ

聖キリール曰ク洗禮ハ聖ニシテ且消拭スベカラザル印記
ナリ二次若クハ三次洗淨ヲ行フヘカラス何トナレハ主ハ
一、信ハ一、洗ハ一ナレハナリ〔**聖洗ノ一**〕
〔**正教會總主教ノ書**〕
曰ク「聖洗ハ従前一切ノ罪ヲ赦スコアラズ罪ハ存スルアリ

聖洗機密
ニ於テ可
見ノ部分

ト雖既ニ力ヲ有セサルナリト言フ勿レ此ノ如ク教フルハ
極メテ不敬虔ナリ教ヲ敗リ且信認セザルナリ之ニ反シテ
實在シ若クハ聖洗ノ前ニ既ニ實在シタル罪ハ尽シ絶滅シ
テ實在セス若クハ未タ曾テ實在セザリシモノ、如ク思ハ
ル、ナリ若シ聖洗ハ更生ナレハ舊者ハ過去ル舊者ハ他ニ
非ス罪ナリ若シ被洗者ハ舊人ヲ脱スレハ罪モ亦脱ス苟モ
ハリストトスナ衣ルトキハ實ニ聖洗ヲ以テ無罪者トナルナ
リ〔**正教ノ一**〕
〔**書十六章**〕

聖洗機密ニ於テ有形ノ外儀ニ属スル者ハ左ノ如シ〔**ア**〕機密
ノ物料ナリ〔**カ**〕機密ヲ施ス時ノ行爲ナリ〔**サ**〕此行爲ノ時ニ述

フル所ノ言ナリ

〔ア〕聖洗機密ノ爲メニ用フル物料ハ或製品ニシテ天然潔
淨ノ水ナリ〔三行實八ノ〕水ハ聖神ノ能力效用ヲ以テ靈ト形ト

ヲ聖ニシ且之ヲ潔クスイイススハリストスハ自ラ水ニ洗

ヲ領ヒリ聖教會ハ使徒以來今ニ至ル迄既ニ此式ヲ用キ且

用フルナリ異端者ニ有ル所ノ他ノ洗式ヲ受ケズ聖書ニ火

ヲ以テ〔三ノ十一〕及ヒ血ヲ以テ〔三ノ廿二、二十〕洗ス

ルコトヲ謂フト雖火ヲ以テスルノ洗ハ他ニ非ス乃チ聖洗機

密ヲ受ルノ奮熱ナル願望ノ謂ニシテ血ヲ以テスルノ洗ハ

ハリストスノ爲メニ致命スルコトナリ彼此二者ハ斷シテ機

ヲ成カス之ヲ洗ト名ツクルハ夫ノ何如シテモ聖洗機密ヲ

受クルコトノ能ハサル者即チハリストスノ爲メニ教會ニ寤

逐ノ起ル時致命者トシテ二者ノ爲メニ神ノ特別非常ナル

恩寵ニ依リ罪ノ赦シテ受ケ天國ヲ賜ハルニ因ルナリ

〔カ〕聖洗ハ至聖三者ノ名ニ因リイイススハリストスノ死罪

ニ倣ヒ三次被洗者ヲ水中ニ浸スルヲ以テ行ハサルベカラ

ズイイススハリストスハ水中ニ浸スルヲ以テ先驅イオア

ンヨリ自ラ洗ヲ領シ〔マトフエイ三ノ十六マルク一〕聖使徒等

モ是ノ如クシテ洗ヲ施セリ〔卅行實八ノ〕聖洗ハ聖書ニ水ノ洗

ト〔エフエイ五ノ廿六〕新生命ノ爲メニ死シテハリストスト同

シ葬ラルハトヲ以テ之ヲ顯ス
 [ロ一マ六ノ四コ] 教會諸父師
 証スル如ク古時ノ教會ニ於テ聖洗ハ水中ニ浸スルヲ以テ
 之ヲ行ヘリイユルサリームノ聖キリール曰ク「爾曹三ツヒ
 水中ニ没シ新ニ水ヨリシテ上レリ此ヲ以テハリストスガ
 三日ノ葬リヲ示シ且ツ了會セシムルナリ」
 [訓二ノ四章ノ教] 新領洗者ノ教
 被洗者ヲ水中ニ浸スルハ三次ヨリ多クスヘカラス又少ナ
 シスベカラス然ラザレハ機密ヲ成サス「若シ主教或ハ司祭
 獨一ノ機密ヲ行フニ水中三次ノ浸ヲ以テセズシテ主ノ死
 ニ效ヒ一次ノ浸ヲ行フ者ハ貶黜セラルベシ」
 [使徒規 則五十]
 古時ノ教會ハ三次水ヲ澆キ即チ水ヲ洒一洒シテ至聖

三者ノ名ニ由リ施スノ聖洗ヲ行フコヲ准允スレハ特別ナ
 ル時機特ニ病者ノ爲メニ姑ク省畧ニ從フモノナリ現今亦
 教會ハ水ヲ澆ク即チ水ヲ洒一洒スルハ機密ノ力ヲ消滅セ
 スト承認ス然レハ此レ既ニ使徒ノ規則ノ正意ヲ離ル、モ
 ノナリ正教會ハ主イエイススハリストスガ自ラ洗ヲ領シタ
 ルノ式即チ之ニ循ヘハ凡ソハリストスニ洗セララル、者ノ
 爲メニ最適當ナル洗式ヲ守ル

[サ] 被洗者水中ニ没スル時聖洗行爲者ハ「神ノ僕、
 、洗
 チ領ス父及ヒ子及ヒ聖神ノ名ニ由テナリ」トノ言ヲ發セサ
 ルヘカラス主イエイススハリストスハ此ノ如クニ洗ヲ施ス

一チ自ラ誠命セリマトフエ二聖書ニ或ハバリストスニ於
 テ若クハハリストスノ名ヲ以テ洗ヲ施スロ一マ六ノ四行
 十八、十九、四五「言ラトイヘ此レイイススハリストス
 ノ誠命ニ循フノ聖洗ハ即チ父ト子ト聖神ノ名ヲ以テスル
 ノ聖洗ナルヲ示スナリダマスクノ聖イオアン此事ニ論及
 シテ曰ク「神ノ使徒ハ我等ハリストスニ於テ及ヒ其死ニ於
 テ洗ヲ領スロ一マ六ノ四」ト曰フト雖聖洗ノ時此ノ如クニ呼祈ス
 ベキヲ示スニアラス但聖洗ハハリストスノ死ノ表様ナル
 ナ見ハサント欲スルナリ何ニトナレハ聖洗ニ於テ三次水
 ニ没スルハ主カ三日墓ニ在ルヲ顯ハセバナリハリストス

一於テ洗スルハ彼ヲ信シテ洗ヲ領スルヲ示ス然レモハリ
 ストスヲ信スルハ父ト子ト聖神ヲ信認スルヲ學ハスシ
 テ能クスヘキニアラス何トナレハハリストスハ父カ聖神
 ナ以テ膏セル活神ノ子ナレハナリ、、、呼祈ノ言ニ至
 テハ主ハ自ラ之ヲ其門徒ニ教フ曰ク「父ト子ト聖神ノ名ニ
 由テ之ニ洗ヲ施スベシ」マトフエ二正教講述凡ソハリスト
 スノ教會ハ至聖三者ノ名ニ由テ聖洗ノ機密ヲ施行ス
 人ハ尽ク罪ニ陥リ生レナカラ被禱ノ子ニシテ永遠ノ亡ビ
 ニ擬セラレシニヨリ凡ソ人ハ永遠ノ救ヲ得ント欲セハ男
 女老少地土ノ差別ナク聖洗ヲ以テ新ナル生命ニ更生スル

成年者聖
 洗ノ緊要
 ナルヲ

「緊要ナリ」人ハ水及ヒ聖神ヲ以テ生ル、ニ非レハ神ノ國
 ニ進ム能ハス〔イオアン三ノ五マルク〕
 信ト悔改トハ聖洗ヲ受ケンヲ願フノ成人ヨリ要求シ〔實行
 八迄二ノ三十八冊〕彼レニ教ノ肝要ナル定理ヲ識リ聖洗ノ前
 ニ作セシ所ノ罪ヲ悔改シサタナト其行トチ峻拒シテ往後
 必スハリストスノ教及ヒ規程ニ循ヒテ生テ度ラントノ堅
 固確實ナル決心ヲ立テント緊要ナリ
 教會作者ノ証ニヨルニ聖洗ヲ領セントスル者ハサタナト
 其行トチ峻絶シ罪ヲ悔改シ聖洗ノ前ニ豫メ其信ヲ自陳シ
 聖洗ノ時ハ信ノ保人タル代父母ト名ツシル者ノアリシハ

小兒聖洗
ノ要緊ナル

使徒ノ時ヨリスル「明白ナリ」
 小兒ハ信ト悔改トハリストスノ教ニ循テ生テ度ル「ノ堅
 キ決心アルヲ自証スルニ堪ヘスト雖也之ニ洗ヲ施ス「緊
 要ナリ」〔ア〕使徒等ハ一家及ヒ凡ソ一家ニ属スル者ニ洗ヲ施
 サレシカ子女モ固ヨリ其中ニ在リキ〔行十六實カ〕イイススハリ
 ストスハ界限ヲ立ル「無ク衆人ニ洗禮ヲ施ス「テ誠命セ
 リ」〔マトフエ二〕聖洗ノ爲メニ成人ヨリ要スル所ノ者ノ小兒
 ニ於テ欲ルアルハ聖洗ノ時父母代父母及機密行爲者ノ信
 ナ以テ補フ「テ得ルナリ聖書ニ父母ノ信ニ因テ病者愈ユ
 ルヲ得」〔マルク九〕死者復活セシ「テ明ニ見ユ」〔ルカ七〕聖教會ハ

常ニ小兒ニ聖洗ヲ施セリ此レ使徒ノ傳ヘコシテ往昔ノ證ト教會世々ノ慣行トニヨリテ見ユルナリ

正教ノ俗人カ施行スル聖洗

聖洗機密ノ行爲者ハ主教ト司祭ナリト雖公教會ハ聖洗ヲ受ケズシテ亡フル者アラシク欲セスユエニ被洗者ノ生命

ノ危キニ臨ミ若シ司祭アラズンハ署シテ洗ヲ施ス一ヲ輔祭ニ准許ス此ノ如ク輔祭フリアハ多人ニ洗セリ〔行實八ノ

三十〕教衆、俗人婦女ニモ亦皆之ヲ行フテ許ス唯聖洗ハ教會

ノ規則定例ニ從テ行ハシテ要ス然レハ其洗ヲ受ケシ者若シ生存スレハ聖洗ハ司祭常例ノ祈禱ヲ以テ全ウスルヲ成

ス〔教會法律書二ノ百四、二百五〕

代父母ノ

代父母ト稱スル者ハ聖洗ノ時ニ與カルナリ彼等ハ幼稚若

クハ病ニ依リテ言フ一ノ能ハサル被洗者ニ代リ答辨シ且

誓ヲ發スベクシテ〔カルフゲン會規則五十四〕之ヲ信ト敬虔トニ教導ス

ルヲ任トスルモノナリ故ニ異教人モ少年モ代父母タルヲ

得ズ正教會ノ人ニシテ教ノ真理ニ曉通スル者ナルベシ〔教會

能取書第二分類五十五章司祭職務ノ一ノ書三章八節〕

傳聖膏ハ機密ナリ即チ主教ヲ以テ聖ニシタル聖膏ヲ体ノ

部分ニ傳シル時靈ノ生命ヲ養活鞏固ナラシムル聖神ノ恩

賜チ與フルモノナリ

機密ノ神立ナル

主イエススハリストスハ明ニ衆信者ニ聖神ヲ允許セリ此

ヲ言フハ之ヲ信スル者將ニ受ケントスル所ノ聖神ヲ指ス
 蓋當時聖神未タ降ラサルハイイスス未タ榮セラソサルニ
 因ル^{〔イオアン七ノ卅九〕}ト而シテ其榮ヲ享ルニ及ヒ五旬節日ニ使徒
 等ハ自ラ聖神ヲ受ケテ之ヲ諸信者ニモ降セリ<sup>〔行實四ノ三
 八、三十九、九ノ十七、十ノ四十
 四、四十五、四十七、十九ノ六〕</sup>爾等既ニ膏ヲ聖者ニ受ケテ一
 切ヲ識ル^{〔イオアン二ノ二十〕}我等ト爾等トナハリストスニ堅メ且
 我等ヲ膏ラスル者ハ神ナリ^{〔コリント後書一ノ二十一〕}公會ハ總テ此
 機密ヲ神立ト見認ム

爲可見ノ事

〔ア〕恩寵ヲ印記スル傳、聖膏機密ノ見ユル行爲ハ聖書ニ或ハ
 手撫ヲ以テ^{〔行實八ノ十五ヨリ十六〕}或ハ膏ヲ傳ルヲ以テ之ヲ

顯ハス^{〔コリント後書一ノ二十一〕}

〔カ〕聖膏ハ酒、橄欖油及ヒ種々ノ香料ヨリ即チ聖神ノ多様ナ
 ル恩典ト其馨香ノ聖徳トヲ表顯スルモノヨリ合製スイエ
 ルサリムノ聖キリール曰ク<sup>〔慎メヨ此膏ヲ以テ尋常ノ看チ
 倣ス勿レ聖膏ハ神性ノ臨在ヲ以テ之ヲ靈驗ナルモノトス
 ルハリストス及ヒ聖神ノ恩典ナリ〕</sup>新領洗者ノ三章^{〔訓第三ノ三章〕}

〔サ〕聖膏ヲ以テ休ノ或部分ヲ膏ラスルナリイエルサリムノ
 聖キリール此ノ傳膏ノ一著ハシテ曰<sup>〔爾等膏ヲセラルハ
 ニ先ツ額ニ於テスルハ爾ヲシテ耻ヲ免レシメンカ爲メナ
 リ、ハ、ハ、次テ耳ニ於テスルハ爾ニ神ノ興義ヲ聞クノ耳</sup>

傳聖膏機
密ニ於テ
賜ハル、
恩寵

テ得セシムルナリ續テ鼻孔ニ於テスルハ爾等ヲシテ神膏
ニ薰セラレ「我曹ハハリストスノ馨香ナリ」ト言フヲ得セシ
メントス、其後胸ニ於テスルハ義ノ鎧甲ヲ被テ魔
ノ伏兵ニ當ルベキヲ致ス〔新領洗者ノ教
訓第三章〕
〔ク〕體ノ部分ニ膏ラスル時「聖神恩寵ノ印」トノ言ヲ述ルナリ
傳聖膏ノ時ニ此言ノ要用ナルコトハ第二全地公會第七規則
及ヒトルリ九十五ニ於テ示説ス
傳聖膏ノ機密ニ於テ與ヘラル、恩寵ハ聖洗ノ機密ニ於テ
既ニ領シタル恩寵ノ能力ヲ養活鞏固ナラシムルナリソル
ンシメオンノ書ニ曰ク「救主ノ洗ニ續キ聖神降りテ我等ニ

人体ヲ藉リシ者ノ神性ノ全滿ヲ顯示セシ如ク我等モ是ノ
如ク聖神ノ恩寵ヲ得ンカ爲メニ聖膏ヲ以テ膏ラスルコトヲ
聖洗ニ次テ行フナリ「蓋其充滿ニ由テ我等ハ皆恩寵ヲ受ケ
恩寵ヲ加フ〔イオアン
一ノ十六〕聖膏ハ亦ハリストスノ印記表示トシ
テモ我等ニ賜ハル、ナリハリストスハ亦自ラ此ノ如ク名
ツケラル即チ膏ラセラレシ者ト蓋シ彼レハ人性ヲ以テモ
父ヨリ聖神ノ全能ヲ己レニ受ケタルニ因ルイカイヤ此事
ヲ示シテ曰ク「主ノ神ハ我ニ於テス我レハ彼ノ爲メニ膏ラ
セラル」ト我等モ是ノ如ク聖膏ニ於テ恩寵ヲ彼ヨリ受ケテ
「ハリステアニ」ト名ツケラレ主ノ「ハリストス」膏ヲ傳ケラ

聖體ノ機密

レシ者ト爲ルナリ」^著聖作六十四章ノ傳聖膏ノ機密ハ凡ソ聖洗
 ナ領シタル者ニ聖洗ノ後直ニ施行ス^{行實八ノ十四ヨリ十}
 十^{九ニ迄エフニス}四ノ三
 十^ノ獨リ東ノミナラス西ニ於テモ是ノ如ク傳膏ヲ行ヘリテ
 ルトリアン曰ク浴盤ヲ出テ我等ハ祝福ノ膏ヲ以テ膏ラ
 セラル^{聖洗ノ}書七八章^ノ此機密ハ銷滅ス可ラサルノ印ヲ誌ス故
 ナ以テ復ビスヘカラス但背教人及ヒ異端者ニハ教會特別
 ノ規則ニ依テ復ヒスルナリ^{第二公會}規則七
 領聖若クハ^{エウハリスティヤ}感謝ノ祭ハ機密ニシテ獻奠スル所ノ餅酒ハ聖
 務ノ時ニ方リ聖神ヲ以テ主イエイスノハリストスノ具體具
 血ニ變化シ其苦ト死トノ記憶ヲ爲シ及ヒ正教ノ「ハリステ

聖體機密ヲ立ル

アニン^カ之ヲ領スルニ因テ罪ノ赦ヲ受ケ永遠ノ生命ヲ得
 ルモノナリ
 此機密ハ主イエイスノハリストスノ立ツル所ナリイエイス
 ハリストス其付セラル、ノ夜ニ方リ手ニ餅ヲ取り祝シテ
 「之ヲ擘キ門徒ニ與ヘテ曰ク取テ食ヘ斯レ乃チ我カ身ト又
 杯ヲ取リ祝謝シテ之ニ與ヘテ曰ク爾皆之ヲ飲メ斯レ乃チ
 我カ新約ノ血衆ノ爲メニ流シテ罪ノ赦シテ致ス者」^{マトフェ}
 ノ廿六ヨリ二十八迄マ^{爾宜シク此ヲ行ツテ以テ我ヲ記ス}
 ル^ル十四ノ廿二至廿四^{ヘシ}ノ十九廿二^ト聖使徒等ハイエイスノ命ヲ遵
 奉シ信者ト相集リテ此機密ヲ行ヘリ^{行實二ノ四十二廿ノ}
 七十一^{コリント前書}

十一ノ二十六、十

聖体機密ニ於テ可見ノ表示

聖体ノ機密ニ於テ見ユル表記ハ左ノ如シ

〔ア〕發酵シタル餅ト葡萄ノ酒ナリ即チ和スルコ水ヲ以テシ

テ「一卒有リ鎗ヲ以テ其脇ヲ刺ス血ト水ト遂ニ出ツ」〔イ〕オア

十四〔三〕ノ事ヲ記憶スルモノナリ聖キブリアン水ト酒ノ混和

ヲ主及ヒ福音經ノ傳ヘニシテ使徒ノ立定ト名ツク〔書札六

ノ杯ノ「ツエチ」

杯ノ「ツエチ」

〔カ〕凡ソ教會ノ教ト其精神ノ全圖ヲ顯ハセルモノニシテ特

ニ名ツケテ神ノ「リトルギヤ」〔奉事ナリ〕ト曰ヘル聖禮ナリ即

チ既ニ聖ニセラレシ堂及ヒ主教ヲ以テ聖ニセラレシ聖案

ニ於テ該時ニ感謝ノ祭ヲ執行セラル、モノナリ

〔サ〕聖務ノ時ニ當リ特ニ此聖体ノ機密ヲ立テタル救主ノ言

ヲ唱へ及ヒ聖神ヲ呼ヒ及ヒ献シタル餅ト酒トニ祝福スル

ナリ救主ノ言ヲ唱へ聖神ヲ呼ヒ及ヒ賜ニ祝福スルハ聖務

ニ於テ至重ナル行事ナリ蓋賜ニ祝福スルノ後餅ハハリス

トスノ眞体ニ變シ酒ハ眞血ニ變セラル存スルモノハ唯目

前ニ顯ハル、餅酒ノ現形ノ「正教宗鑑第一」

聖体ノ機密ニ於テ賜ハル、恩寵ハ左ノ如シ

〔ア〕主イエスキリスハ此機密ヲ立テ、明カニ其晚餐

ニ於テ餅ハ彼レノ眞体ニシテ酒ハ彼レノ眞血ナルヲ告ケ

聖体機密ニ於テ賜ハル、恩寵

他ノ意ヲ致サズ曰ク「此レ乃チ我カ身此レ乃チ我ガ血」イ
ススハリストス機密ヲ立ツルノ前ニ語テ曰ク「我レ誠實ニ
 爾等ニ告グ人子ノ肉ヲ食ハズ其血ヲ飲マサレハ爾ノ内ニ
 生命無シ蓋シ我カ肉ハ誠ニ食タリ我カ血ハ誠ニ飲タリ」イ
アン六ノ五十三「聖金口曰ク」ハリストスノ肉ヲ食ヒ及ヒ其
 ヨリ五十五迄」イ血ヲ飲ム者ハ聖体機密ノ時ニ方リ我等カ領スル体ハ天上
 ニ坐シテ諸天使ニ叩拜セラレ不朽能力ニ從テ在ル者ト少
 クモ異ナル無キヲ確トシテ記スベシ此体ハ乃チ我等之ヲ
 食フナリ」エフス三「章ノ講説」公教會ハ機密ヲ行フ者カ神、父ニ向ヒ「此
 餅ヲ爾ノ聖神ヲ以テ變シテ爾ノハリストスカ尊榮ノ体ト

爲セ此杯中ノ物ヲ爾ノハリストスカ尊榮ノ血ト爲セ」トノ
 祝言ニ循テ餅ハ眞實ニ主ノ眞体ニ變化改新シ酒ハ主ノ眞
 血ニ變化改造スルハ形色ヲ以テスルニアラス徵信ヲ以テ
 スルニアラス恩寵ノ餘リヲ以テスルニアラス唯獨生子ノ
 神性ノ交通感格ヲ以テスレニアラス且其有ル所ノ餅酒ノ
 或部分ハ或改變混交ヲ以テハリストスノ体血ノ或部分ニ
 變スルニモアラスシテ上ニ既ニ言フ如ク眞實必然餅ハ主
 ノ眞体ト爲リ酒ハ主ノ眞血ト爲ルト恒ニ信シ且信スルナ
 リ」東ノ總主教正教七章」
 「カ」聖体ノ機密ニ於テハ罪ヲ棄テ、永生ヲ得ルノ神糧神飲

ヲ施サレ靈ト形トヲ聖ニスルヲ誘惑ニ克ツテ神靈ノ生
 命ヲ益々養活スルノ力ヲ賜ハル、ナリ此機密ハ復活ト永
 福ノ聘質ナリ信者ハ特ニ此機密ヲ以テ主イエススハリ
 トスノ苦死ニ分アル者ト爲リ且親密ニ彼レト接合シテ彼
 レハ自ラ信者ニ居リ信者モ彼レニ居ルニ至ル救主曰ク「我
 カ肉ヲ食ヒ我カ血ヲ飲ム者ハ永生アリ我レ末日ニ於テ將
 ニ之ヲ甦セントス蓋シ我カ肉ハ誠ニ糧タリ我カ血ハ誠ニ
 飲タリ我カ肉ヲ食ヒ我カ血ヲ飲ム者ハ我ニ居リ我モ亦彼
 ニ居ル」イオアソ六ノ五十四使徒曰ク「爾等隨時此餅ヲ食ヒ
 此杯ヲ飲ミ乃チ主ノ死ヲ表シテ以テ其臨ニ至ル」コリソフ前書十一

ノ廿九ルカ二十聖體機密ノ恩寵ノ功用ニ於ル教會ノ信ハ
 大ワシリイノ祝文ニ顯ハサル曰ク願クハ此聖物ハ我カ靈
 魂ト肉体ノ療愈ト潔淨ト照明ト保全ト救援トニ及ヒ之ヲ
 聖ニスルヲニ萬般ノ妄想惡業ト魔ノ行爲トヲ驅逐スルヲ
 ニ我レ爾ヲイイススハリストスチ畏レス且愛スルヲニ生
 命ヲ改好鞏固スルニ德行ヲ長養成備スルニ誠命ヲ守尽ス
 ルニ聖神ノ合通ニ永生ノ備ヒニ爾ノ怕ル可キ審判ノ時陳
 訴スヘキトニ於テ皆成ル有ンヲテ「聖體機密ヲ領ス
 然ルニ宜キニ合ハスシテイイススハリストスノ躰ト血トヲ
 領スル者即信ヲ以テヒス痛解シテ良心ヲ潔クスルヲ以テ

セス神ヲ敬シ且畏ルヲ以テセスシテ重罪ヲ以テスル者ハ
「己レノ定罪ヲ食飲スルナリ主ノ躰ヲ辨ヘサルニ因ル」
前書十九「是ニ因テ爾ノ中多ク弱者病者アリ死スル者モ亦
少ナカラス」
〔同三〕

餅ト酒カ
ハリスト
スノ体ト
血ニ變化
スルヲ

聖体機密ノ時餅ト酒ハイイススハリストスノ体ト血ニ變
化スルニ因リ〔ア〕餅酒ノ聖ト成ルノ後ハ既ニ餅酒ニアラス
シテ餅酒ノ形状ノマ、主ノ眞實ナル体ト眞實ナル血トチ
存スルナリ〔東總主教正教〕
〔カ〕既ニ聖ニセラレシ餅酒ハ各々擘碎シテ細微小片トナル

ノ中ニ整全トシテ分レサルハリストスノ体ヲ保全スルナ

リ此ノ教會ノ信ハ聖体機密ノ式ニ言顯ハス曰ク「擘カレ且
分タレ常ニ食ハレ未タ曾テ消耗セラル、アラヌシテ乃チ
領者チ聖ニスル神ノ羔ハ擘カレ且分タル、ナリ

〔サ〕聖体機密ハ世界無數ノ地ニ行ハル、ト雖東總主教ノ説
明スル如ク「ハリストスノ体ノ數多ナルニアラスハリスト
スハ一旦同クシテ眞實ニ其一体一血ヲ凡ソ散分セル信者
ノ教會ニ實在セシムルナリ主ニハ永遠一体ナリ數多ノ者
カ數多ノ處ニアルニアラス故ニ總テ之ヲ思フニ此機密ハ
甚タ妙奇ニシテ獨リ信ヲ以テ悟リ得ベク人智ノ考ヒ到ラ
サルモノナリ」〔東總主教正教〕

聖体ヲ領スルノ要緊ナルコト

〔タ〕聖賜ハ信者ノ領スルト領セサルトニ論ナシ聖トナリシ時ヨリ主ノ眞体眞血ニシテ存スルナリ故ニ四旬大齋ノ時預聖^{リトルギヤ}聖務ヲ行フカ爲メニモ病者ニ領セシムルカ爲メニモ保守スル所ノ既聖ノ賜ハイエススハリストスノ眞体眞血ナリ

〔ナ〕聖賜コハ神トシ拜セサル可ラズ此拜ハ直ニ之ニ實在スル主神我等ノ救主イエススハリストスニ歸スルナリ〔正教宗鑑〕

第一分類五十六及ヒ百七問答

故有リテ教會ノ權ヲ以テ禁セラレタル者ノ外凡ソ正教ノハリステアニシタル者ハ永遠ノ救ヲ得ンカ爲メニ主カ生

テ施スノ体血ヲ領スルニ就カサル可ラズ「人子ノ肉ヲ食ハズ其血ヲ飲マサレバ爾ノ内ニ生命アルコトナシ」即チ永生ヲ奪ハルハナリ〔イオアソ六〕且獨リ聖禮ヲ行ラ者ノミナラス總テ正教ヲ奉スル者ハ兩個ノ形狀ノマ、ヲ以テ聖賜ヲ領セサル可ラズ唯ハリストスノ体ヲ領スルノミナラス其血ヲモ領スルコトノ衆人ニ緊要ナルコトヲ救主ハ自ラ之ヲ言ヘリ彼レ明ニ命シテ曰ク「衆皆此ヲ飲ム可シ」〔マコフエイ廿六〕

前書十一ノ廿三ヨハリストスノ教會ハ皆既ニ此命ニ遵ヒ且遵フ唯成人ノミナラス小兒ニモ之ヲ携フル者ノ信ニ依リ靈魂ト肉体ヲ聖ニ愛且神ノ恩寵ヲ受ルカ爲メニ必ス

聖体ヲ領スル時ノ

聖体ヲ授ケラルベキハ猶代父母ノ信ニ依リ聖洗ノ機密ヲ施サルハカ如シ

聖体ヲ領スルハ〔一〕聖洗ノ時ヨリスルナリ〔二〕危篤ナル病ノ間特ニ死ニ逼ル時ナリ〔三〕領聖後久ク時月ヲ経過シタル時ナリ總テ可成數々領スヘク特ニ聖齋中ニ於テスヘシ年ニ一次ト雖必ス領セサル可ラズ

「ハリスチアニン」カ數々聖体ヲ領スルコトハ聖体ノ禮儀ヲ行テ主ノ記憶ヲ爲ス可キイイススハリストス自ラノ命ヲ以テ定メラレシナリ即チ眞實感恩ノ心ニ於テ可能復新スヘキ者ナリ初立教會ノ模範〔行實二〕及ヒ教會聖諸父ノ訓誨

聖体ヲ屢次領スルヲ勤ムル

モ此ヲ勤勉ス

聖大ワシリイノ書ニ曰ク「毎日領聖スル即チ聖体聖血ヲ領スルハ宜クシテ且尤モ益アリハリストスハ明ニ告テ曰ク

「我カ肉ヲ食ヒ我カ血ヲ飲ム者ハ永生アリ」〔イオアノ六〕

「蓋シ不斷ニ生命ニ分アル者トナルハ他ニアラス多様完全ニシテ生活スルノ謂ナリ然リ而シテ我等領聖スルハ毎週ニ四次主日ニ水曜ニ金曜ニ土曜ニ於テス若シ或ハ聖者ヲ記憶スルアレハ別日ニモ領スルナリ」〔八十九ノ書札聖

聖体機密ハ唯諸ノ機密中ノ無上至聖ナル機密タルノミナ

聖体機密ハ獻祭ナリ

ラズ此レ實ニ新約ノ献祭ニシテ舊約ノ献祭ニテ預象シ諸
 預言者ヲ以テ預言セル舊約ノ献祭ニ易フル者ナリ而シテ
 聖務ノ時トイイヌスバリストスカ苦ヲ受ケ十字架ニ死ス
 ルコソ記臆ニ餅酒ノ形状ヲマヤチ以テイイススハリスト
 マノ体血ヲ神ニ献スルニアリ救主曰ク「此乃チ我カ身爾ノ
 爲メニ捐ル者爾宜ク此ヲ行テ以テ我ヲ記ス可キナリ此杯
 乃チ新約立ルニ我カ血ヲ以テシ爾ノ爲メニ流ス者ナリ」
 【十九廿二】此献祭ハ晚餐ノ機密ニ於テ聖禮ヲ務ムル者ノ
 手ニテ献セララルト雖此献祭ノ實行者ハイイススハリスト
 トスニシテ司祭長モ献祭モ之ヲ献スル者モ献セララルト者

聖體機密
 ハ恒ニ真
 教會ニ行
 ハレテ至
 世末ニ至
 ラントス

モ共ニ一體トナル者ナリ所以ニ聖禮ヲ務ムル者ハイイス
 スハリストスノ名ニ依リイイススハリストスト共ニ無血
 ノ祭リヲ寶坐ニ献ス即チイイススハリストス顯ハコシテ
 ハ既ニ之ヲ十字架ニ行ヒ幽ニシテハ寶坐ニ行ヒ且聖神ヲ
 以テ其教會ニ立ツル所ノ司祭ニ顯ハコシテ行フテ誠命
 セルモノナリ聖體機密ハ献祭トシテ生者及ヒ死者即チ信
 ト望トコ在テ此世ヲ逝リシ者ノ救ヒノ爲メニ行ハル、ナ
 リ
 イイススハリストスハ世界ヲ救フカ爲メニ一次己レテ十
 字架ニ献シ天ニ昇リテ神父ノ右ニ坐ス而シテ無血祭ヲ献

スルヲエロハリスケイ〔若クハ感謝ノ祭〕ハ其立定ノ時ヨリ常久不斷今ニ至
ルマテ行ヒテ之ヲ記ス且其誠命ノ如ク不變不易眞教會ニ
行ハレテ世ノ終リニ至ラントス即チ聖神カ使徒ヲ以テ證
スル如シ曰ク爾等隨時此餅ヲ食ヒ且此杯ヲ飲ミ主ノ死ヲ
表シテ以テ其臨ニ至ルコリント前書〔十一ノ二十六〕

痛解機密
ノ一

公教會ハ恒ニ此ノ如ク既ニ教ヘ且教フ此信ハ凡ソ東西ノ
聖休禮儀及ヒ全地公會ニ於テ之ヲ顯ハス第六公會規則〔三、廿八、三十二〕
痛解ハ領洗ノ後ニ犯シタル罪ヲ赦スカ爲メニ神ノ立テラ
レシ機密ナリ故ニ教會ノ父ハ之ヲ第二ノ洗禮ト名ツク信
者ハ此機密ニ於テ心ヲ裂キ己レヲ罪シ且生命ヲ悛ムルノ

決心ヲ以テ殘ル所ナク其罪ヲ司祭ノ前ニ口認ス即チ之ニ
賴テ顯ハニ罪ノ赦ヲ受クルモノニシテ主イエススハリス
トス冥々ノ中ニ在テ之ヲ釋クナリ
イエススハリストスハ信者ノ罪ヲ赦スト赦サ、ルノ權及
特許ヲ自ラ聖使徒ニ與ヘ使徒ニ山リ凡テノ牧者ニモ與ヘ
リ曰ク爾等地ニ縛ク所ノ者ハ亦天ニ縛カレ爾等地ニ釋ク
所ノ者ハ亦天ニ釋カレマコトフエイ十〔父我ヲ遣ハス如ク我亦
爾ヲ遣ハスト言ヒ竟リ之ニ嘘クニ氣ヲ以テシテ曰ク聖神
ヲ受クベシ凡ソ爾カ罪ヲ免ス所ノ者ハ免サル、ナリ爾カ
罪ヲ定ムル所ノ者ハ定メラル、ナリ〕イオアン廿三〔廿一、廿二、廿三〕

此機密ハ恒ニ全教會ニ行ハレ今且行ハル此ノ如ク行實ノ書ニモ使徒ノ時ノヲ記シテ曰ク「信者多ク來リ自ラ其罪ヲ認メテ其所行ヲ訴フ」^{〔行實十九ノ十八イオ〕}「クリメント及ヒワルナワノ書簡ニ罪ヲ認ムルノ主義ヲ述ブ」^{〔ア〕}前書一ノ九參考

罪ノ赦シテ得セシムルカ爲メニ痛解者ニ要求スル者ハ左ノ如シ

〔一〕罪ヲ覺知シテ之カ爲メニ眞心ニ痛解スルヲ即罪ヲ眞實ニ厭惡スルヲナリ人間維新ノ功ハ悔改ヲ以テ起始ス救世主モ使徒モ其傳道ハ悔改ニ呼フヲ以テ始メタリ曰ク「宜シ悔改スヘシ」^{〔マ〕}ト^{〔フ〕}イ^{〔三〕}ノ^{〔二〕}四^{〔七〕}ノ^{〔マ〕}ル^{〔ク〕}罪人ハ己レノ^{〔一〕}十五^{〔行實二ノ卅八三ノ十九〕}

罪ト其結果ノ至重ナルト己レノ足ラザルヲ己レノ罪ノ爲メニ凡ソ神前ニ陳訴スヘキヲトテ感發覺知セサル可ヲス「父ヤ我レ罪ヲ天及ヒ爾ノ前ニ獲尙爾ノ子ト稱スルニ堪ヘス願フハ我ヲ視ル爾カ傭人ノ一ノ如クセヨ」^{〔ルカ十五ノ十八、十九〕}

此ノ如ク浪子ノ悔改スルハ深ク悔イ自ラ咎メテ在天ノ父ニ告ルナリ聖大ワシリイ曰ク「悔改ハ人先ツ自ラ泣號シテ其心ヲ裂カンヲ要ス」^{〔イサヤ十五ノ章五節講說〕}

〔二〕其行ヲ改ムルヲ誠實謙謹ナル決心ナリ凡ソ己往ノ罪惡ナル身事ヲ厭惡スルト凡ソ己ヲ罪ニ引誘シ己ノ爲メニ罪ノ緣由際會トナルヘキ事ヲ峻拒スルトハ罪人ニ緊要ナ

リ故ニ罪人ハ悔改機密ノ行爲者カ己レノ爲メニ改ムル
 ノ緊要ナリト告クル所ノ者ハ尽ク之ヲ行フヲ決心セサ
 ルヘカラス此決心ナクシハ悔改ハ唯靈魂ノ乱レヲ愈々増
 大ニスルノ假偽タランノミ先驅聖イオアン悔改者ニ語テ
 曰ク「當サニ悔改ニ符スルノ果ヲ結ブヘシ」マトフエ「三ノ八」イ聖大ツ
 シリイノ書ニ曰ク「病ニ苦ム者ハ若シ其生命ノ爲メニ害ト
 ナルヘキ者ヲ固ク執ルトハ醫ノ預防ハ病者ニ何ノ益アラ
 シヤ是ノ如ク尙不實ヲ行フ者ニ不實ヲ赦シ依然トシテ放
 肆ニ生ラ度ル者ニ放肆ヲ縱サハ絶エテ益ナキヲ必セリ至
 智ナル我カ生命ノ攝理者ハ既ニ罪ニ居リ隨テ正明ノ行ニ

改進セントノ誓ヲ爲ス者ヲシテ己往ニ終リテ告ケシメ既
 ニ成セル罪ノ後ニ譬ヘハ悔改ニ頼リ其生命ヲ一新シテ一
 定ノ始初ヲ制セシメント欲ス」イサイヤ一章「十四節講説」

〔三〕主イイススハリストスヲ信スルヲ望ムヲナリ主イ
 ススハリストスハ罪ヲ釋クノ權ト特許トテ教會ニ賜ハリ
 罪ノ赦シハ唯彼レノ至聖ナル名ト無限ナル功德ノ爲メニ
 與ヘラル、ナリ行實ニ曰ク「諸預言者ハ之カ爲メニ證スル
 ニ凡ソ之ヲ信スル者ハ其名ニ因テ罪ノ赦シヲ得ヘキヲ以
 テス」十三ノ四ト彼レハ獨リ我等ヲ神ト和睦セシメクリマロ
五ノ十八、八ノ二イイイススハリストスヲ信スルヲ望ムヲ

ナキノ痛悔ハハリストスノ譏人イウダノ如ク人ヲシテ唯
 絶望ニ沈マシムルノミ聖イラリイ曰ク「異教人及ヒ異端者
 中多ク禁食ヲ以テ其肉体ヲ攻メ廣施ヲ以テ節制ヲ心ニ銘
 スル者アリト雖モ若シハリストスニ由テ行フニアラサレ
 ハ聖善ナルコト助ケサルナリ」【ポアテルノ聖イラリ
 詩篇十四ノ講説】
 痛解機密ノ見ユル行爲ハ左ノ如シ

痛悔機密
 見ニ於テ可
 ノ行爲

〔一〕悔改スル罪人ノ認告ナリ即口陳、丹心、正直、謙遜ヲ以テ己
 レヲ責メテ機密行爲者ノ前ニ既ニ行ヒシ罪ヲ詳細ニ告解
 シ及ヒ靈魂ノ景情ヲ尽ク吐露スルナリ此レ其機密ヲ行フ
 者カ悔者ノ靈魂ノ景情ノ的確分明ナル要領ヲ得痛悔ノ直

不直ヲ察シ其靈魂ノ景情ニ準シテ訓誨開導ヲ施シ督責ヲ
 爲シ釋ヲ與ヘ若クハ此ヲ辞スルカ爲メニ欠ク可ラサルモ
 ノナリ認告ニ於テ故意ニ罪ヲ隱匿スルハ全ク罪人ノ不悔
 改ナルコトヲ證ス此ノ如キ假偽ノ認告ハ唯罪ヲ潔クセサル
 ノミナラス却テ罪人ノ愆ヲ増スナリ教會ノ初時ヨリ信
 者ハ使徒ノ前ニ口ツカテ罪ヲ認告セリ【行實十九ノ十八イ
 オアソ一書一ノ九
 イアコフ】若シ人假令ハ啞者ニシテ其罪ヲ口陳スル能ハサ
 レハ或外號若クハ筆書シテ之ヲ爲スヘシ
 全公教會ハ其慣行ト會議トニ於テ恒ニ罪ハ其諸景情ト共
 ニ口陳スルヲ緊要ナリト認メリ【ラオデイキヤ會規則二ア
 ソキル會規則五、七ネオケ

サリヤ會規則三第六公會規則
百二大ワシリイ規則八十四

大ワシリイノ書ニ曰ク「神ノ機密ノ攝理ヲ任セラレシ者ノ
前ニ罪ヲ認ムルヲ緊要ナリ」〔二百八十八問答〕「我レ陰ニ罪ヲ

行ヘバ亦陰ニ悔改夫神ノ前ニ行ハントハ人言フヘカラサ

ルナリ若シ此ノ如クナレハ「爾ヲ地ニ縛ク所ノ者ハ亦天ニ

縛カル」トノ言ハ無用タラントス〔福アウグスタイン〕鍵ヲ教會ニ與ヘラレシモ

無用タラントス〔説教四十九〕

〔二〕痛悔者ノ良心ト靈魂ノ景情ヲ試ムルヲ即痛悔者若シ自

ラ充分ニ明示セサレハ機密ヲ行フ者問フテ之ヲ獲ルモノ

ナリ

〔三〕機密ヲ行フ者痛悔者ヲ訓誨督責シ及ヒ勸勉シ其疑團心

惑ヲ決シ且補贖ヲ命スルヲナリ此ノ如ク施洗聖イオアン

ハ來リテ己レカ罪ヲ認ムルヲフアリセイ及ヒサドケイノ徒ヲ

督責シ且之ニ語テ曰ク「爾等悔改ニ符スルノ果ヲ結フヘシ」

〔三ノ八〕〔マトフェイ〕聖使徒ハ痛悔者ニ訓誨ヲ與ヘリ〔行實二ノ三〕

〔四〕認告ヲ受ル所ノ司祭カ痛悔者ニ補贖ヲ命スルヲナリ補

贖ハ〔ア〕教會ノ規則ニ照シ或ハ一神父ヲ以テ或ハ諸牧師ノ

會議ヲ以テ罪人ノ妄爲ヲ止メ他ヲ懲スカ爲メニ罪ノ罰ト

シテ罪人ニ命セラル、ナリ補贖ハ隠ナルアリ公ナルアリ

隠ナルモノハ縛釋ノ權ヲ有スル各牧師ヲ以テ命シ公ナル

モノハ唯主教ノ權若シハ牧師ノ會議ヲ以テ命ス例ヘハ跪拜叩拜及聖體ヲ領スルヲ違サシル如キ是ナリ使徒パウエル
 カコリンツノ不義者ニ命セラレシ特罰^{コリンツ前書}五ノ一至五ハ乃
 テ使徒ノ權ノ事ナリ補贖^カハ司祭タル者靈魂ノ醫トシテ
 罪ヲ悔ユル者ノ病ヲ療スルカ爲メニ授クルノ藥方トシテ
 亦之ヲ命セラレ、ナリ^{第六公會}例ヘハ禁食、施濟及ヒ祈禱、
 罪ノ緣由機會ヲ與フルノ地ト人トニ違サカラシムルカ如
 シ補贖^サハ罪ヲ以テ犯ス所ノ義ヲ補フガ爲メニモ罪ヨリ
 生シタル損害ノ償トシテモ命セラレ、ナリ^{同上}
 主イエススハリストスハ苦ヲ受ルト死トテ以テ神ノ義ヲ

満足シタリト雖罪人ニ在テハ其悔改ノ實ナルヲ證シ及ヒ
 罪ヲ以テ生セシメタル損害ヲ賠フカ爲メニ律法ノ義ヲ滿
 足スルヲ緊要ナリ例ヘハ有害不經ノ文章ヲ以テ神及社會
 ヲ凌侮セシ者ノ如キハ之ヲ絶滅シ若シクハ辨白セサルヘ
 カラス近者ノ榮譽若シクハ所有若シクハ健康ヲ害セシ者
 ハ其被ラシメタル損害ヲ償ハサル可ラス
 補贖ヲ命スルノ權ハ唯罪ヲ釋クノミナラス亦釋クヲ拒
 ムノ權ニ在リ^{爾チ地ニ縛ク所ノ者ハ亦天ニ縛カル}マトフエ
 ノ十八イオアン^{聖使徒ハ其權ヲ使用セリ使徒ノ後任牧師}
 廿ノ廿三參考^{ニ於テハ恒ニ悔罪者ヲ督責改化スルカ爲メニ既ニ補贖ヲ}

設ケ且設シルナリ〔教會規則書中補贖ノ題號ヲ見ルベシ〕

〔五〕悔罪者ヲ釋キ若シハ釋カサルコナリ機密ノ行爲者ハ主イエイススハリストスヨリ與ヘラレシ罪ヲ釋シ即チ之ヲ赦スト縛シ即チ釋シコナ拒ムノ權ニ循テ主イエイススハリストスノ名ニ依リ救主ノ親命ニ照ラシテ悔者ニ其定斷ヲ口ツカラ告ルナリ〔イオアン二十ノ廿三〕我等カ主ハ自ラ口ヲ以テ悔罪者ニ其定斷ヲ示セリ曰ク爾ニ罪ハ赦サル〔マトフエイ七ノ四十八カ〕機密行爲者ノ定斷ハ自意ニ由ルニアラス聖書ノ指示ニ依リ至公教會ノ規則ニ基ツキ悔者ヲ救ハンカ爲メニ述フルナリ實ニ痛悔シテ其生平ヲ悛メントノ確タル

痛解機密ニ於テ賜ハルノ一恩寵

志ヲ立テ愈々主神ヲ切愛スル者ヲ赦シ〔ルカ七ノ四十七〕唯其罪ヲ棄ツルノ心無キノミナラス此ヲ以テ自ラ慰ムノ罪人ニハ釋シコナ允サスシテ時ヲ待チ若クハ之ヲ釋キシ後悔改ノ果ヲ結ビ負フ所ノ補贖ヲ守ルコナ命ス痛解機密ノ恩寵ノ效用ハ左ノ如シ

〔二〕罪ノ赦免ナリ機密行爲者ノ定斷ハ唯罪人ノ爲メニ赦不赦ノ尋常ノ告示ニアラス聖神ノ效用ニシテ神カ自ラ確定スル神與ノ權ノ裁判ナリ〔マトフエイ十八ノ十八イ〕赦免ハ凡ソノ罪人ト凡ソノ罪トニ及フ眞ノ痛悔ト其生平ヲ悛メントノ決心ヲ以テ痛解機密ニ就ク者ノ中司祭ノ釋クニ賴テ

罪ノ赦シテ受ケサルノ罪人アルナク眞ニ悔ユルノ罪人ニ
 赦シテ受ル能ハサルノ一重罪モ亦必スアルナシイイスス
 ハリストスハ凡ソノ罪ヲ釋シテノ權ヲ使徒ニ與ヘ使徒ヲ
 經テ諸牧者ニモ與ヘリ曰ク「聖神ヲ受クヘシ凡ソ爾ガ罪ヲ
 免ス所ノ者ハ免サル、ナリ爾カ罪ヲ定ムル所ノ者ハ定メ
 ラル、トリ」^{イオアソソ}神ノ仁慈トイイススハリストスノ
 功德ノ價值ハ無限ニシテ凡ソノ罪ノ重キニ超越ス「若シ我
 レ罪ヲ認ムレハ彼レハ則チ忠信、善義必ス我カ罪ヲ赦シテ
 我ヲ諸不義ヨリ潔クス」^{イオアソソ}書一ノ九

〔二〕罪人ニ成聖ノ恩寵ヲ與フルナリ罪人ハ之ヲ以テ神ト和

陸シテ永生上喪失スル所ノ權理ヲ得且神ノ仁惠及恩寵ノ
 挽回ヲ覺知スルニヨリテ良心ノ穩靜ト生平ヲ改ムルノ新
 ナル勢力ト新ナル銳進ト神ニ奉事スルノ一大熱心トヲ得
 ルナリ^{ルカ十五ノ廿一至廿四、十八ノ十}
 〔三〕罪ノ爲メノ永刑ヲ免ル、ノミナラス時トシテハ今世ノ
 罰ヨリモ免ル、ヲ得且永遠ノ救ヒニ望ミアルヲナリ^{ルカ}
 十至九、廿三ノ四
 七十二、四十三

神品若シクハ^{ヒトニヤ}手撫ハ機密ナリ教會ノ規則ニ照ラシテ選ハ
 レシ人ニ祈禱ト共ニ主教ノ手ヲ以テ其頭上ヲ按スルニ從
 テ其自ラ領受スル所ノ輔祭司祭若シクハ主教ノ聖職ニ應

神品機密
ノ神立ナ
ル

スル神ノ恩寵ヲ授與スルモノナリ
 神品ノ機密ハ神ノ立ツル所ナリ曰ク「父ノ我ヲ遣ハセシ如
 シ我モ爾ヲ遣ハスト言ヒ竟リ之ニ嘘クニ氣ヲ以テシテ曰
 シ聖神ヲ受クベシ爾カ罪ヲ免ス所ノ者ハ免サル、ナリ爾
 カ罪ヲ定ムル所ノ者ハ定メラル、ナリ」イオアン廿ノ廿一
至廿三マトフェイ十
 六ノ十九、十「爾當ニ自ラ慎ムヘシ亦全群ヲ慎メ即聖神爾ヲ
 立テ、主教トナシ主及ヒ神ガ己レノ血ヲ以テ獲ル所ノ教
 會ヲ牧セシムル者ナリ」行實二十八
 主イエスキリスチスチスカ聖ナル使徒ニ與ヘラレシ恩寵、恩
 典及ヒ權ハ永遠ニ眞具會ニ在リ且在ラントス何トナレハ

主ハ父ニ祈リ永遠ニ之ト偕ニ居リ世ノ終リニ至ラントス
 廿八ノ廿マトフェイ此恩典ト此權トハ教會ノ神品機密ニ於テ使徒以
 來其後任ニ人ヨリ人ニ世ヨリ世ニ彼此相受ケテ不斷ニ傳
 ハラル、モノナリハリストス教會ノ他ノ諸教則ハ此機密
 ト連合シテ離レサルモノトス若シ聖神ノ恩寵ヲ以テ人ヲ
 聖ニスル教會アレハ神品(聖ヲ授ル者)モ必ス此ニ在ルヘシ
 何トナレハ神品ハハリストスカ其教會ニ賜ハル、恩寵ノ
 全キチ自ラ保有スレハナリ故ニ聖大シリイカ書スル如
 シ教會ヨリ離レシ者ハ相繼ノ斷絶ニ依リ其授與ハ乏尽セ
 シニ因テ聖神ノ恩寵ヲ既ニ己レニ有セサルナリ而シテ初

神品機密ノ外儀

メ分離セシ者ハ神父ノ手撫ヲ得且其手撫ニ由テ聖神ノ才能ヲ受ケタリト雖既ニ廢除セラレシ者ハ俗人トナリテ洗テ施スコニモ手撫スルコニモ其權ヲ失ヒ聖神ノ恩寵ヨリ自ラ離レシニ由リ人ニ傳與スルコトヲ得サルナリ
〔アンフィロピウス〕
書一章定規

神品機密ノ外儀ハ左ノ如シ

〔一〕祈禱ト共ニ主教ノ手ヲ被聖者ノ頭上ニ按スルナリ使徒

ノ例ハ此事ヲ證ス〔行實六ノ六、十三ノ二、三、十四ノ廿三、

三十〕此レ使徒規則〔六十〕及ヒ公會〔第一公會規則〕及ヒ私會〔カ

ル六會規則〕ヲ以テ命セラレ、ナリ

神品機密ニ於テ恩寵ハル、恩

〔二〕聖寶坐ノ前ニ膝ヲ屈ムル被聖者ノ頭ヲ按スルト共ニ主教カ述ル所ノ言ナリ曰ク永遠ニ劣弱者ヲ療スル神ノ恩寵云々

神品ノ機密ニ於テハ之ヲ領スル者ニ教會ニ從事スルカ爲

メニ之ヲ聖ニスル聖神ノ特賜ヲ授ケ世人ニ上タルノ尊ト

并セテ各品ニ應ジテ聖職ヲ行フノ特許ト權トヲ與フルナ

リ

公教會ハ既ニ教ヘ且教フ聖禮ヲ勤メ神ノ言ヲ傳ヘ及ヒ信

者ヲ治ムルカ爲メニ選ムル、者ハ特別ノ恩寵ヲ領ストニ

スサノ聖グリゴリイ曰ク「言ノ能力ハ新ナル降福ヲ以テ司

祭ヲ多クノ群中ヨリ分チテ重要尊貴ナル者ト爲ス昨日ハ
 尙世俗ノ一ニアリテ今日ハ俄然施教ノ人トナリ上班トナ
 リ教師トナリ深奥ナル機密ノ行爲者トナリテ現ハル身体
 丰容ニ於テハ毫モ變スルアラスシテ此ヲ致ス、、、然
 レモ其見ル所ハ依然トシテ舊ノ如クナリト雖無形ノ靈魂
 ハ改變シテ或無形ノ能力ト恩寵トヲ以テ頗ル良新ナルヲ
 致ス〔司祭職ノ〕神品ノ等級ノ異ナルニ循ヒ神品ノ職務ヲ授
 ルニモ亦各様ノ恩寵ヲ賜ハル此ノ如ク輔祭ハ主教ト司祭
 カ行フ所ノ機密ニ補助スルト〔テイモフエイ前〕書三ノ十三其降福ト其注意
 ナ以テ神ノ旨ヲ傳教スルノ恩寵ヲ受ルナリ〔行實六ノ十八〕

司祭ニハ主教ノ降福ト其注意ヲ以テ聖禮ヲ勤メ機密ヲ行
 ヒ神ノ言ヲ傳教シ且其任スル所ノ群ヲ治ムルノ恩寵ヲ與
 ヘラル主教ニハ唯自己ニ諸ノ機密ヲ行フノミナラス神品
 ノ恩寵ヲ他ニ授クルノ恩寵ヲ賜ハル、ナリ神品ノ恩寵ハ
 主教ヲ經テ人ヨリ人ニ世ヨリ世ニ遞給相傳ス故テ以テ主
 教ニ活在スル神ノ賜ヲシテ〔テイモフエイ前〕書四ノ十四教會ニ恒ナラシメ
 ンカ爲メニ主教ヲ立ツル手撫ノ斷エサルヲ緊要トス然
 ラスシハ其相授受スル手撫ノ斷絶ト共ニ恩寵ノ汎濫ハ潤
 尽シテ神品ヲ挽回スヘカラサラントス〔テイモフエイ〕後書一ノ六
 主教ノ品級ニハ三主教若シクハ少ナクモ二主教ヲ以テ之

神品機密
ノ復ヒセ
サル

立ツ〔使徒規
則一〕

神品機密ハ聖洗及ヒ傳聖膏ト同ク復ヒセス此レ法例ニ循
テ立ラレタル者ニ銷滅スヘカラサルノ印ヲ押ス即チ輔祭
ノ品級ニ於テモ司祭ノ品級ニ於テモ主教ノ品級ニ於テモ
二次聖ニスル能ハサル者ナリ使徒〔パウエル〕証ス神品ノ恩賜ハ
之ヲ領セシ者ニ永遠ニ活存ス〔テモフエイ前書四ノ六〕若シ主
教若クハ司祭若クハ輔祭ハ二次手撫ヲ受ルアレハ其者モ
之ヲ授クル者モ必ス聖品ヨリ貶黜セラルヘシ〔使徒規則六十八〕故
ニ正教會ニ分レシモ使徒以來繼承スルノ手撫ヲ守ル教會
ニ於テ規則ニ差ハスシテ神品ニ立テラレシ者カ正教會ニ

神品機密
ヲ受クヘ
キ人ノ事

歸スルアレハ其有スル所ノ品級ヲ以テ教會ニ用ヰラル、
ナリ〔同上〕會規則〔三十六〕但シ異端者ヨリ手撫ヲ受ケ若クハ教
會ノ規則ト合ハザル者ハ新ニ正教會ノ主教ヨリ手撫ヲ受
クヘシ〔同上〕規則〔一〕

神品機密ハ唯男子ノ正教信者ニシテ教會規則ノ要スル年
齡アリ且靈形ノ才徳アリテ聖架ト福音經ノ前ニ於テ聖書
并ニ教會ノ規則ニ從テ聖職ヲ勤メ聖ナル正教會ト聖ナル
諸父ノ導ク所ニ循ヒ教法ヲ守リテ之ヲ他ニ授ケ虔敬ナル
行ヲ脩メ凡テノ職務ヲ爲スニ於テ其意己レカ榮譽又ハ益
利ノ爲メニアラスシテ神ノ榮ト聖教會ノ善ト近者ヲ救フ

婚配機密

ニアルヲ誓言スルノ人ニ授ケラル、ナリ〔主教及ヒ司祭ノ〕
 婚配ハ機密ナリ此機密ニ於テハ天然ノ愛ヲ全ウシ膠漆一
 体タルヲ羣メ及ヒ兒ヲ産スルノ潔ク且之ヲ養育シテハリ
 ステアニントスルガ爲メニ甘心ノ好合ニ依テ配偶スル男
 女ノ結親ヲ聖ニスル恩寵ヲ與ヘラル、ナリ
 配偶ノ結親ハ神カ自ラ初祖ニ降福スル所ナリ創世記ニア
 ダムトエワノ事ヲ言テ曰ク是レ其男ヨリシテ取出ヌキ以テ
 之ヲ稱シテ女ト爲スベシ是ヲ以テ人宜ク其父母ヲ離レ其
 妻ニ好合スヘシ二者即チ一体タラン〔創世記二ノ二〕新約ニ
 於テ婚配ハ機密ノ位ニ昇セラレタリ救世主地堂ノ神言ヲ

婚配機密
ノ神立ナ

學ケ且之ニ加ヘテ曰ク「神カ耦スル所ノ者人分ツヘカラス」

〔マトフエイ〕
十九ノ六

聖使徒パウエル曰ク「夫ヤ爾ハ宜ク其婦ヲ愛スルコト
 ハリストスカ教會ヲ愛シテ之カ爲メニ己レヲ捨ツル如ク
 スベシ」又曰ク「是ヲ以テ人宜ク其父母ヲ離レ其妻ニ膠合シ
 テ二者一体トナルヘシ此レ乃チ奧義ノ大ナル者我レ之ヲ
 言フハ以テハリストス教會トチ指ス」〔エフエス五ノ廿五〕此
 ニヨリテ見ルニ配耦ノ結親ハイエススハリストスカ教會
 ト奧密結合スルノ徵信ニシテ其無限ノ愛チ人間ニ及ホス
 見ユルノ表兆ナルコト明カナリ凡ソ人ヲ相結和スルノ連合
 中男女ヲ合セテ一体トスルノ婚配ヨリ縝密ナル連合アラ

ナルナリ婚配ハ人倫ノ大本ナリ人間ハ此ニ賴テ蕃殖シ且保全セラレテ家族ヲ成ス公教會ハ婚配ニ於テ恒ニ聖ヲ施ス恩寵ノ效用ヲ認メリ

婚配機密ノ外儀

〔一〕一男一女配耦ノ結親ヲ爲スノ自由ナル契約ヲ聖堂ニ公告スルコトナリイニススハリストス〔九ノ四以下〕自ヲ多娶ヲ

禁スル如ク其教會モ之ヲ定罪シテ人ノ本性ニ合ハサル獸行ト爲ス〔大ワシリイ〕唯其ノ共ニ婚配ヲ成セル者カ死シテ

後婚配ヲ爲スハ一人三次ニ至ルマテハ教會ノ聽許スル所ナレド教會規則ニ示サレタル制限ニ從ハサルベカラス

〔二〕教會ニテ指示スル式ニ依リ婚配ヲ行フコトナリ即チ婚配

ノ契約婚配機密ノ祈禱及ヒ婚配セラレシ者ニ公然ナル祝福ナリ

婚配機密ニ於テ與ヘラルノ恩寵

婚配機密ニ於テ與ヘラルノ恩寵ハ人間此世ノ生活ニ於テ子孫ノ繼續ヲ祝福シ且子ヲ生テ之ヲ眞實ノ教ト敬虔トニ養成スルカ爲メニ男女ノ結合ヲ聖ナル者トナス〔テイモフエリ〕前書二ノ

五〔十〕婚配ハ凡ソ人生常變ノ中ニアリテ眞正ナル歡喜ノ源ヲ

開キ男ト女トニ配耦ノ至重ナル義ヲ完ウセシメンガ爲メ且匹偶ノ境遇ニ免レサルノ勞苦憂愁ニ堪ヘシメンガ爲メ

ニ欲ク可ラサルノ力ヲ賜ハリ夫婦ノ相敬相愛ヲ堅メテ他ノ諸ノ不法ナル戀慕ヲ避ケシムルナリ〔コリンノ前書七ノ二エウレイ十三ノ〕

四

婚配機密ハ男女ノ連合ヲ畢生不離ナルモノト爲ス
 スハリストス自ラ曰ク「神カ耦スル所ノ者人分ツヘカラス」
 ト婚配ノ連合ハ唯夫妻中一人ノ死ヲ以テ解クルナリ其生
 時ニ在テイイススハリストスハ唯夫妻中一人ノ淫行ノ罪
 ニ依テ婚配ヲ解クコトヲ聽許セリマトフニ何トナレハ此罪
 ハ神ノ定メラレタル男女ノ一体タルコト既ニ自ラ解クナ
 以テナリ
 左ノ人々ハ婚配ヲ爲スヲ得ヘシ一他ト結親ノ約アラザル
 者ナリ二定期ノ年齢アル者ナリ三兩間教會ニテ婚配ヲ禁

聖傳機密
ノ

スル血屬ノ中ニアラサル者ナリレウイト十八ノ六至十八
 四及ヒ四總テ教會ト國法ニテ設ル所ノ規則ニ應スル者ナ
 リ
 聖傳ハ機密ナリ此レ聖セラレタル橄欖油ヲ病者ニ傳クル
 ニヨリ且司祭ノ祈禱ニ賴テ靈魂ノ病ヲ療シ若シ病者ヲ救
 フカ爲メニ緊要アレハ身体ヲモ療スルノ恩寵ヲ願ヒ得ル
 モノナリ
 使徒等ハ主イイススハリストスノ親命ニ循ヒ「油ヲ以テ多
 クノ病者ニ傳ケ之ヲ醫ス」マルク六使徒等ハ神ノ訓ニ從ヒ
 自ラ聖傳ヲ施行セシ如ク其後任ニモ之ヲ誠命セシコトハ明

聖傳機密
ノ
ル

聖傳機密
ニヨリテ
授與セラ
ル、恩寵
ノイ

ニ使徒イアコフノ書ニ見エタリ使徒イアコフ曰ク「爾中病者アラハ會中ノ長老ヲ請フヘシ彼レハ主ノ名ヲ以テ油ヲ傳ケテ之カ爲メニ祈禱スヘシ信ニ由ルノ祈禱ハ病者ヲ救フヘシ主ハ將ニ之ヲ起サントス」〔イアコフ五ノ十四、十五〕
聖傳ハ機密トシテ恒ニ教會ニ存セリハリストス教會ノ古代ノ諸父及ヒ著作家イリテイブオニシイアレオバキートオリゲンイエルサリムノマカリイ金口等此事ヲ證明ス
機密ノ見エサル恩寵ノ效感ハ左ノ如シ

〔ア〕機密ハ若シ病者ノ爲メニ緊要ナルアレハ其身体ノ健康ヲ復ス

〔カ〕生命ノ不快ト憂愁ト病ニ苦ミ死ヲ待ツトテ以テ攪乱スル病者ノ心神ヲ鼓舞シ神ノ仁慈ニ聊頼スルヲ以テ興起セシメ己レノ怯心ナルト其ノ抗逆スル魔鬼ノ力ヲ以テ病者ノ靈魂ヲ震撼スル暴風トニヨリテ起ル所ノ誘惑ニ敵スルカタメニ勇氣ヲ灌キ入ル、ナリ

〔サ〕罪ノ赦シテ與ヘラル、ナリ重罪ト雖ヒ聖傳機密ノ能力ヲ以テ病者ニ赦サル曰ク「若シ己ニ罪ヲ犯セルモ亦將サニ之ヲ赦サントス」聖傳機密ハ此關係ニ於テハ痛解ノ機密ト相似タルニ更ニ靈魂及肉休ノ苦痛ヲ和クルヲ兼ヌルナリ

聖傳機密
ニ於テ可
見ノ表示

機密ニ於テ見ユル者ハ左ノ如シ

[ア] 聖油即チ橄欖ノ油ナリ油ハ聖傳ノ機密ニ於テ恩寵ノ見
 エカル效感ヲ見ユルノ表示トスルヲ得ベシ油ハ痲腫ノ傷
 處ニ對シ之ヲ滅和スルノ方法ナル如ク機密ノ能力モ靈魂
 ノ憂愁悲傷ヲ節減スルナリ油ハ健康ヲ固ム古ハ心靈ノ悅
 ヒノ表記トシテ之ヲ首ニ沃ケリ〔詩篇廿五〕油ハ燭照スルカ爲
 メニ火ノ糧ト爲リ且勞疲シタル体ニ活動ノ力ト自由トナ
 與フルナリ古ハ角抵ヲ爲スノ前ニ之ヲ力者ニ塗レリ
 [カ] 司祭カ病者ノ爲メニ行爲スル信ニ由ルノ祈禱ナリ
 [サ] 傳油ヲ行フト共ニ述フルノ言ナリ曰ク父々靈ト体トノ

醫ヤ云々

第五分類

世界ノ命運ノ成全者、神ノ事

神學者聖グリゴリイ曰ク世々ノ創造者ナル神ハ凡ソ有ラ
ユル萬物ノ成全者ニシテ且改新者ナリ神ノ旨カ世界ノ事
ニ關涉スルハ〔一〕死時死後各人ノ命運ナリ〔二〕全人間ノ命運
ナリ〔三〕此ノ有形世界ノ終リニ臨ミ普世一般ノ命運ナリ

〔二〕人ノ末後ノ命運ノ事

此ノ世ニ於テ人ノ末後ノ命運ハ此世ノ生命ノ終リト私審
判ト此審判ノ結局トニアリ
人ノ地上ノ生命ハ靈魂ト形体ト分離シ若クハ靈魂カ形体

人ノ靈魂
不死ノ事

體軀ノ死
スル事

ヲ釋クヲ以テ終ハルナリ〔ノ廿三〕體ハ壞ルレモ靈魂ハ不死
ニシテ存ス即チ靈魂ニ應スル充分ノ知覺及ヒ一切ノ才能
力量及ヒ其作用ト共ニ其各別一箇ノ存在ヲ保守シテ亡ハ
サルナリ聖ドロフエイ曰ク「靈魂ハ此ノ世界ニ於テ行ヒシ所
ヲ一トシテ忘ルヽトナシ身ヲ脱シタル後ハ更ニ愈々良コ
愈々明ニ凡ソ地ニ屬スル者ヨリ脱然釋出セル者トシテ萬
記セサル所ナシ」
聖書ハ總テ人ノ不死ナルコトノ證ヲ充ツ萬國諸時衆人ノ信
モ之カ證ヲ爲ス
靈魂ハ不死ナレモ形体ハ死ニ服ス即チ若シ靈魂ハ體ヨリ分

離スレハ体ハ朽爛敗壞シテ土ニ歸スルナリ「塵ハ素ト出ル
 所ノ土ニ歸シ靈魂ハ之ヲ賜フノ神ニ歸セン」傳道書十神ハ
 死ヲ造ラス智慧書一ノ十三死ハ罪ノ結果ナリコロサマ六是ヲ
 以テ死ハ今日衆人ノ爲メニ免ル能ハサル所ナリ「人ニ一
 死スルヲ定メタリ」エウレイ九ノ廿七詩篇八十九ノ四十世
 ヲノ經驗モ亦此ヲ確實ニス
 靈ハ体ヨリ離ル、後ハ審判ニ神ノ前ニ顯ハル即チ生時ニ
 形体ト共ニスル意思、語言、行事、善ト惡トニ論ナシ、尽ク推問
 セラレテ新ナル生命ノ運ヲ決セラレ、ナリ此審判ハ名ツ
 ケテ私審判ト曰フ何トナレハ体ヨリ出ツル後特ニ直ニ各

私審判ノ

人ノ靈魂ニ施サレハナリ聖使徒パウエル曰ク「人ニ一次死
 スルヲ定メラレ後審判アリ」体ヨリ出ツル後各人ノ靈魂ノ
 爲メニ特別ナル私審判有リトノ教ハ舊約教會ニ在リシラ
 子イイスス新約教會ニ於テモ其初時ヨリ之ヲ守ル正
 十一ノ二十六

教會ニ於テハ私審判ノ「ノ教ヲ大氣魔關ノ景狀ヲ以テ顯
 ハス即チ靈魂ハ形体ト別ル、後惡鬼ト數々遇着シ去ルト
 此ノ教ノ淵源スル所ハ「爾ツ魂ヲ索メントス」ルカ十ノ言中
 ニ有リ此ノ死後ノ魔關ハ靈魂善惡ノ行ヲ試ムルニ過キサ
 ルモノニシテ之ヲ惡行ヨリ潔シスルニモ之カ功德ヲ増ス
 ニモ資ケサルナリ此レ私審判ノ情形ナリ但或假造セル煉

私審判
後聖魂ノ
景情

獄ノ説トハ聊同カラズ
私審判ノ後聖者ノ靈魂ハ主ヨリ天ノ賞ト地ノ榮トヲ賜ハ
カナリ私審判ノ後聖人ハ神ノ安息ニ入りエウレイ愛愁モ
知ラス病苦モ知ラス困難モ知ラス黙示録七シテ地上生時
ノ功德勞苦及ヒ功績ノ多寡ニ循テ有福ナル境地ヲ賜ハル
ナリ今ヨリ後主ニ屬シテ死スルノ死者ハ福アラシ聖神曰
シ然リ蓋シ彼レハ其勞ニ逸ス黙示録十聖大グリゴイリノ
書ニ曰ク「完全ナル義人ノ靈魂ハ此形軀ノ鏈ヲ脱スルヤ直
ニ天上ノ居室ニ懸ルコトハ炳トシテ火ヲ覩ルヨリモ明カナ
リ太異者モ其口ヲ以テ證スルカ如シ曰ク「屍ノ在ル所ニハ

應必ニ集ランルカ十七我等ノ贖罪主カ体ト共ニ在マス處
ニハ無論ニ義人ノ靈魂モ集在スルナリパウエルモ逝テハリ
ストスト共ニ在ラコリント願フフィリ所以ニハリストスカ
天上ニ在セルヲ疑ハサル者ハパウエルノ靈カ天上ニ居ルヲ
肯ゼスンハアラパウエルハ又其軀ヲ脱シテ天上ノ本處ニ
入ルコトヲ謂テ曰ク「我レ知ル此ノ我カ地ニ屬スルノ幕室ハ
若シ壞レハ我ニ神ニ由ルノ屋アリ手建ノ室ニアラス天ニ
永遠ナル者ナリ」コリント後書五ノ一イタリヤノ神父等
義人ノ靈ノ在居スル處ハ樂園ルカ二十三神國ト名ツケ及
ヒ其他逝者ノ靈魂カ些少ノ病苦憂愁及ヒ嘆息モアラサル

安息ノ處ニ居ルヲ顯示スルノ名ヲ以テ之ヲ名ツク
 然レハ義人ノ靈魂ノ全キ福ノ來ルハ靈魂カ既ニ死セル形
 体ト合スルノ後ト公審判ノ後トニアラントス而シテ此審
 判ニ至ルマテハ其有福ナル景狀ハ復ク全福全榮ノ景狀ニ
 アラサルナリ聖使徒パウエル曰ク「今稱義ノ冕有リ備ヘテ以
 テ我ヲ待ツ即主ナル公義ノ審司ハ彼ノ日ニ於テ將ニ我ニ
 賜ハントスル者ナリ獨リ我ニ賜フノミナラス亦凡ソ彼ノ
 顯著ヲ慕フ者ニ賜ハントス」テイモフエイ後書四ノ八聖大グリゴリイ曰
 シ義人ノ爲メノ報酬ハ審判ノ日ニ至テ奇異ニ發達セント
 ス今彼等ハ靈魂ヲ以テ福ヲ享シルノミナレド第二ノ審判

私審判以
 後靈魂ノ
 景情

ノ後ハ身体ヲ以テ福ヲ享シ即チ主ノ爲メニ病ト苦トヲ忍
 耐セシ体ヲ以テ享クルナリ此ノ發達スル榮福ノ一ヲ著ハ
 シテ曰ク「加倍シテ其地ヲ繼カン」イサイヤ六十一ノ七〇イ
 魂不死ノ一章ノ對話二十五章
 聖人ノ靈ハ死後直ニ賞ヲ領スル如ク不悔ノ罪人及ヒ不虔
 者ノ靈モ休ヨリ出ツル後直ニ難ト苦トニ擬セラレ神ヲ離
 ル、ノ遠キニ在リ良心ノ咬ヲ忍ヒ幸福ノ喪失ト受苦トヲ
 覺見ス
 此事ハ明ニ「ア」富人トラザリノ一ノ譬ニヨリテ見ルヘシ主
 イイススハリストス曰ク「富人ハ死シテ之ヲ葬ル彼レ陰間

痛苦ノ中ニ在リ其眼ヲ舉テアウラアムヲ見ルル廿二至廿六ノ
ト痛苦ニ在リトハ富人ハ唯苦ヲ待ツノミナラス實ニ苦ヲ
忍ヒ且重ク痛苦ヲ受ルヲ明示スルナリ

〔カ〕此事ハ又教會常久ノ傳ニヨリテ見ルヘシニシビヤノ聖

イヤコフノ書ニ曰ク我等ノ教法ハ教フ人死スレハ義人ノ

靈ハ神ニ出去リ罪人ノ靈ハ地獄ニ之クトト〔定理教ノ〕

身死シテ後罪人ノ靈魂ノ之ク處ハ陰間ル廿三十六又ハ罪ニ

死セシ者ノ居ル處ハ神ノ譴罰義怒ノ有ル處ナルヲ顯示ス

ルノ名ヲ以テ名ツク

然レモ罪者ノ靈魂ノ爲メノ刑ハ體ノ復活ノ後ニ於テ全ク

未決ナル
或靈魂ノ
景情

顯ハルハナリ聖金口曰ク死後罪人ノ靈魂ハ此處ヨリ或ル

處ニ引去ラレ既ニ彼處ヨリ回歸シ得ヘキアラヌシテ其赫

顯ノ日ヲ待ツマトフ三十四節講說イハ廿

福ヲ享ケタル者ノ境ハ復タ奪ハル能ハサル一定ノ境ナリ

ト雖譴ヲ受ケタル者ノ境ハ必スシモ一定ニアラス此世ノ

生時ニ未タ悔改ニ符スルノ果ヲ結ハサリシカド信ト望ト

ヲ以テ死シタル罪人ノ爲メニハ特別ナル神ノ仁慈ニ依リ

且教會ノ祈禱ニヨリテ慰メヲ受クヘキモノアリマトフ十二ノ卅

二ペートル三ノ十九

廿エフエス四ノ八九

天ニ在ル
教會ト

神靈ノ世界即チ聖神使ノ世界ト天ニ昇リ罪ヲ贖ハレ聖ト

成レル聖人ノ靈魂ノ世界ハ地上ノ信者ト獨一ノ首イエス
 スハリストスノ下ニ唯一ノ教會ヲ成シ諸神使聖人ト地ニ
 居ル者トハハリストスノ獨一奧妙ナル体ノ一體タルナリ
 天ニ在ル者ハ凱旋ノ教會ヲ開キ地ニ在ル者ハ戰ノ教會ヲ
 成ス諸聖人ハ天上ニ入ルニ因テ宙地上ノ戰ノ教會ト其合
 通ヲ絶タサルノミナラスイエススハリストスト潔淨純全
 ノ合一ニ昇進シテ至至至備ナル生命ヲハリストスノ中ニ
 具フルニヨリ愈々又之ト親密ナル合通ヲ有スルナリ〔ア〕神
 使及ヒ諸聖人ハ地上ニ存在スル所ノ教會ト合一タルヲ
 地上ニ在ル所ノ人ノ事ヲ神前ニ祈禱代求スルヲ以テ顯ハ

シ又地上ニ在ル者ハ彼等ヲ尊ヒ且榮ズルニ因リ彼等ヲ祈
 禱ノ助ケニ呼フニ因リ且聖像ヲ尊フニ因リソノ不朽聖尸
 ナ尊フニ因テ之ト体合ヲ爲ステ致ス〔カ〕地ニ在ル所ノ信者
 ハ之ヲ祈禱ニ記憶スルニ因リ之カ爲メニ作善及ヒ無血祭
 ナ行フニ因テ其永運ノ未タ知ルヘカラサル人々ノ靈魂ト
 合通ヲ爲スナリ
 公教會ハ聖神使及ヒ其他ノ無形ナル天軍ヲ尊ヒ且之ヲ榮
 シ之ヲ其祈禱ニ呼フヘキヲ其子ニ誠命ス
 諸祖、諸士師及ヒ諸預言者カ肅然トシテ神使ニ尊敬ヲ加ヘ
 シヨハ載テ聖書ニ明カナリ此ノ如クアウラムロト及ヒ

イアコフハ神使ニ叩拜シツラアムハ神使ヲ見ルヤ直ニ叩
 拜シテ地ニ俯ス〔民數紀零二十〕神ハ其使ヲ尊フイテ親ヲ善
 ミス神イズライイミ民ニ語テ曰ク「視ヨヤ我レ吾カ使ヲ爾ノ
 面前ニ遣ハス、、、爾慎テ之ヲ犯ス勿レ我レノ名彼レ
 ノ中ニ在ルヲ以テナリ」〔山埃及記廿一〕イイススナウインハアルヒストラ天軍
 將ノ前ニ於テ地ニ俯伏セリ而シテ此ノ天軍將ハイイスス
 ナウインカ己レニ叩拜セシヲ嘉ミセシノミナラス且之ニ告
 テ曰ク「爾カ足ノ履ヲ脱セヨ蓋爾ノ立ツ處ハ聖ナリ」〔イイス
 ノノ書五ノ〕舊約教會ハヘルビムノ像ヲ唯聖所ノミナラス
 至聖所ニモ立テ、天軍ヲ尊敬セリ新約教會ハ初時以來神

使ヲ尊フニ唯其名ニ堂ヲ獻シ尊榮シ聖像ニ繪キ祈禱ノ歌
 ナ以テ殊ニ守護神使ヲ尊敬スルヲ以テスルノミナラス信
 者ニ之ヲ祈禱ニ呼フヲ教示ス
 神使ヲ尊敬シ及ヒ之ヲ祈禱ニ呼フハ彼等ハ主神ノ寶坐
 ヲ繞リ〔イサヤ六ダニイル〕常ニ天父ノ顔ヲ觀〔マトフニイ
 七ノ十イエセキリ〕神
 ノ口語ノ聲ヲ聞ク〔詩篇百〇〕ニ據ルナリ彼等ハ人ニ神ノ旨
 ナ報ス〔士師記六ノ一、列王紀零上、十九ノ五、同下、一ノ十五ダ
 ニイル九ノ廿一以下ルカ一章マトフニイ一ノ二十〕
 人々ノ祈禱ヲ神ニ獻シテ之カ爲メニ代求シ〔黙示錄三總〕其
 信ト善ナル若クハ痛悔ヲ以テ改良シタル行トニヨリテ永
 遠ノ救ヲ繼メテ欲スル衆人ノ救ヲ得ルニ眼事スルナリ

一ノウレイ人ノ死時ニ臨在シテ義人ノ靈ヲアウラムノ懷
 ニ携至スノルカ十六人ヲ生命ノ諸途ニ衛護シ詩篇九十一天然
 ノ國ニ於テモ恩寵ノ國ニ於テモ剛毅ニシテ勢力アリ火炎
 ノ如キ熱心ヲ以テ造物主ノ旨ヲ行フニ敏捷ナル者トシテ
 神ニ服事スルナリ詩篇百四舊新約ノ史ハ聖人カ神使ニ賴テ
 種々ノ災禍危難ヨリ捍衛セラレタル惠然タル守護ノ實蹟
 ナ多ク顯ハス創世記十九ノ廿一、十七至十九、出埃及記十四
 五ノ十九、神使ハ内愛ニモ外患ニモ國ト民トニ助ケテ送り
 且送ルナリ例ヘハ預言者ダニイルノ書ニヨリテ明ニ見ユ
 神使ハエウレイ民ノ捕虜ヨリ還歸セシメテ神ニ祈リ差役

至聖神母
 ナ尊敬シ
 及ヒ讚榮
 スルヲ

首ミハイル之ニ助ク時ニペルシヤ國ノ神使ハ彼此ト爭論
 シ善使ハ其請フ所ヲ受ケタルダニイルノ十カ如キ其他例多シ
 ハリストトスト偕ニ天上ニ王タル諸聖人ノ靈魂中特別ニ至
 聖童貞神母マリヤニ崇敬尊榮ヲ施サル、ナリ何トナレハ
 彼レハ神カ其實体ヲ定住シタル獨一有生ノ器トナリシニ
 ヨル其他ノ諸聖人ハ縱令聖神ノ効用ニ依テ神性ノ共分者
 トナリ三位ノ神ノ寓所トナルヲ得ルト雖神言ノ人體ヲ藉
 レルヲ獨リ己ノニ受ケタル神母ト比スレハ全ク異ナルア
 リ但彼レハ神母トシテ諸ノ造物即チ神使諸聖人ニ上タル
 者ト爲レリ神ノ子ノ懷孕スル嘉音ヲ報セシカ爲メニ神ニ

リ使ハサレテ無論ニ唯神ノ命ヲ奉行スル差役首ガウリイ
 ルハ之ニ特別ノ崇敬尊榮ヲ施セリルカ一ノ二教會ハ特ニ
 明々ナル神使ノ祝言ヲ以テ恒ニ至聖童貞マリヤノ福ヲ讃
 揚ス義婦エリサウエタハ曾テ聖神ノ感ニ依テ彼ヲ讃揚セリ
ルカ一ノ四十至聖童貞マリヤハ自ラ告テ曰ク「今ヨリ後萬
 世將ニ我ヲ福アリト謂ハントスルカ一ノ」四十八ト此預言ハ此言
 ノ儘是レ聖神ノ言ニシテマリヤノ命運ト「ハリスタアニソ」
 カ之ヲ尊敬スヘキトニ於ル神ノ趣意允肯ヲ證顯スルナリ」
モスツ府主教フイラレト「而シテ公教會ハ凡ソ聖禮ヲ務ル
 時ハ恒ニ熱心ニ至聖神母ヲ讃揚ス此レ尋常ナル人間ノ傳

ニアラス自意所好ノ熱愛ヨリ生シ來レル慣行ニアラス私
 信仰ノ例ニ效フニアラスシテ乃チ專ラ人ニ授ケラレタル
 聖神ノ意思神ノ招指ニ從ヒ「ハリスタアニソ」ノ爲メニ聖ニ
 シテ且正シキ有益ナル本分ヲ成スモノナリ神母ハ其子ノ
 榮セラレサル間ハ此世ノ生時ニ人間ノ榮ヲ避ケタリオイ
 ススハリストスハ人間ノ愛ノ自然ヲ以テセスシテ恩寵ノ
 效用ノ致ス所ト爲ルヘキカ爲メニ自己ノ生時ニ其母ノ榮
 ヲ顯ハスヲ急ニセサリキ然レモハリストスカ死シ復活
 シテ天ニ昇リシ後ハ其母ノ榮モ顯ハレタリ同上
 教會史傳ノ證ニ依ルニ神母ヲ呼フハ神母ノ死後三日ニ

使徒ヨリ始マレリ彼レノ幫助ト護佑トヲ呼フハ全教會ノ
 爲メニモ各信者ノ爲メニモ無數無量ノ仁恩アリテ之ニ從
 フナリ彼レ神ノ母トシテハ人ニ與フルニ神ノ前ニ代求ス
 ル特別ナル權力ト特別ナル敢爲トヲ以テセリ「若シ夫ノ香
 油ヲ盛リシ器ハ後ニ至テモ盡シテ多少其油ノ势能ヲ存ス
 ルアラハ矧ヤ降孕シ時ニ神体ノ器ト爲レル者ハ其一名モ
 「傾注ノ香膏」〔雅歌一〕ナル者ヨリ恩寵ノ妙馨ヲ以テ永遠ニ膏
 ヌラルハコアルハカラサランヤ是故ニ既ニ彼レニ居ルニ
 体ヲ以テシ永遠ニ居ルニ神靈ヲ以テスル者ノ恩寵
 ノ存在ト救援ノ效用トヲ彼レ自己ノ臨在ト祈禱トヲ以テ

之ヲ人ニ近シカシムルハ彼レニ適當シ實ニ當然ナルナリ
 〔府主教フイラレト至聖神〕
 母ノ眠リハ日ト説教

神母ハ凡ソ神ノ悦フ所トナラントシテ勞スル者ト凡ソ此
 世ノ生命ヲ神ニ事ルニ獻セシ者ノ第一至大ナル保護者ナ
 リ代求者ナリ且幫助者ナリ彼レハ憂悲スル者ヲ速ニ撫恤
 シ萬ノ災禍危険ヲ救ヒ魔ヲ逐フ彼レハ痛悔スル者ノ代保
 者ナリ彼レハ神ニ反正セント欲スル罪人ノ爲メニ靠ルヘ
 キ庇廕ナリ彼レハ此等人ノ爲メニ神ノ前ノ温々タル中保
 者ナリ全教會ハ神母ノ保護代求ノ模範ト實蹟トヲ滿ツ
 尊敬ハ凡ソ神ノ忠僕ニシテ且寵人タル聖人ニ施サレテ其

聖人ヲ尊
 敬スル

施サル光榮ハ聖人ニ妙奇ナルノ神ニ歸スルヲ此ノ如ク預言者ハ諸子ハ神ノ僕タリ且友タルエカセイハ區然地ニ叩拜セリ〔列王紀零下〕エリセイカソマンソ婦ノ子ヲ死ヨリ復活セシメタル時モ婦ハ之ニ同様ニ尊敬ヲ見ハセリ〔列王紀略下、四〕神ハ其聖者ヲ凌侮スル者ヲ嚴ニ罰ス〔列王紀零下、三十七〕神ハ其聖者ヲ凌侮スル者ヲ嚴ニ罰ス〔列王紀零下、四〕ウエライリノ兒ハ預言者エリセイヲ嬉笑セシメ因テ牝熊ニ攫セラレタリ〔列王紀零下、二〕聖人ハ神ノ造者タリ且肖似タリハリストスノ活肢活体ナリ且聖神ノ器タルモノトシテ尊敬スヘキ者ナリ尊敬ハ其聖ナルヨリ始終タル神父ト聖者ヲ聖ニスルニ其馨香ヲ以

テスルイオイススニリストスト聖者ノ靈ト形トヲ其殿トスルノ聖神ニ溯ルナリ獨一ノ代贖者タル我等カ救主イイスズハリストスノ榮光ハ聖者ヲ尊敬スルニ因テ獨リ減損セサルノミナラス益々高メラル、ナリ彼レノ聖者ニ榮ヲ施スハ實ニ彼レニ施スナリ彼レノ救世ノ恩寵ト彼レノ神ナル功德ハ彼レニ贈ハレシ者ヲ以テ榮ヲ享ク彼等ハ神ノ聖ナルコト完全ノ器トシテハ神父モ神、聖神モ彼等ニ於テ榮ヲ享クルナリ聖者ヲ尊敬スルハ不信ノ人ニハリストスノ恩寵カ正教會ニ活在スルヲ勸示シ並ニ教會憂愁ノ日ニ於テハ信者ヲ慰ムルニ資クルナリ神ハ何レノ時何レノ國ヨ

聖人ヲ呼
祈スルヲ

リモ聖者ヲ教會ニ賜ハリテ彼等ヲ修飾スル神靈上ノ智識、
 練達及ヒ神明ノ諸賜能力ハ衆人ノ爲メニ得易キモノトナ
 ルヲ見ハ神僕ノ乏カラシテ懼ルヘカヲモルヲ昭々タリ
 神ハ凡ソノ恩典ト凡ソノ善福ノ獨一本源ニシテ救ヒハ唯
 彼レニノミ存在スト雖ヒ或ハ其聖人ノ中保ヲ以テ其恩典
 ナ傾注スルヲ喜フナリ即チ人々ハ其代求ニ趨就シ若クハ
 聖人ハ自ライイススハクリストスヲ愛スルニ依リテ地上ノ兄
 弟ノ幸福ノ爲メニ神前ニ代求スルナリ聖書ハ諸聖人ノ代
 求ニ趨就スルヲ勸誘ス此ノ如ク神ハ自ラアウラアムヲ凌
 侮セシゲラルノ王アウイメレフニ義人アウラアムノ代求ニ

趨就スルヲ命シテ曰ク「彼レハ預言者ナルニ因リ將ニ爾ノ
 爲メニ祈ラントス」創世記廿七主ハ神ノ前ニ罪ヲ犯シタルイオ
 ヲノ友ニイオフニ就キ彼レヲシテ其罪ノ爲メニ復和ノ祭
 チ神ニ獻セシムヘキヲ命ス曰ク「我カ僕イオフハ將ニ爾等
 ノ爲メニ燔祭ヲ獻シ爾等ノ爲メニ祈禱セントス我レ將ニ
 之ヲ納レントス」イオフ七、八、十
 神ノ臨在ノ顯象ニ驚キタルイスライリ民ハ此ノ如キ代求
 ノ必要ナルヲ知シテモイセイニ彼等ト神ノ間ニ中保
 代求者トナラシメテ請フ曰ク「爾チ我等ニ言フベシ唯主ハ
 我等ニ言フ勿ラシメテ願フ」出埃及記廿九即チ爾チカ神ニ中保

代求スルニ頼テ神ハ我等ニ言フヘキヲ願フナリ聖人ノ代
 求ノコトノ教ハ聖人ノ證明實例ヲ以テ之ヲ確定セリ聖人ハ
 信者ニ互ニ相祈禱スルコトヲ教ヘ^{イアコフ}テ自ラモ互ニ之
 カ爲メニ祈禱セリ使徒パウエルローマ人ニ達スル書ニ曰ク
 我レ祈禱スル時恒ニ爾ヲ念フテ己マシ^{一ノ}ト又使徒ハ自
 ラモ信者ニ己レカ爲メニ祈禱ヲ請ヘリ^{ローマ}ソレ使徒
 ハ信者ノ祈禱ヲ己レニ有益ナリト認メバ聖人ノ祈禱ノ助
 ケハ他ノ衆人ノ爲メニ要用ナルコト幾許ソヤ
 聖人ハ地ニ生在スル者ノ爲メニ實ニ代求シ且祈禱スルナ
 リ舊約ニモ此ヲ言ヒ^{マカウエ}後書十^{五ノ十三十四}新約ニモ此事ニ言及

ンテ曰二十四長老ハ皆羔ノ前ニ俯伏シ各々琴瑟ヲ執リ又
 金鼎ハ滿ツルニ香ヲ以テス即チ諸聖者ノ祈禱ナリ^{黙示録}
 ト此祈禱ハ頌美コアラヌ又讚榮ニモアラズシテ代求ナル
 コハ八章三四節ノ神使ハ聖人ノ祈禱ヲ獻スト言ヘル處ニ
 ヨリテ見ユ數多ノ實蹟ハ聖人ノ祈禱ノ爲メニ主カ罪人ヲ
 矜憐スルコトノ休ムナキコトヲ證ス^{イサヤ}六ノ十二三出
 略下^{十九}末時ニ至ラントスル災禍モ聖人カ主神ニ代求ス
 ルニヨリテ熄滅セントス曰ク選民ノ爲メニ其期將ニ滅セ
 ントス^{マトフ}イ二十^{四ノ二十二}聖人ハ信者ニ助クヘキノカラ有シテ
 人ニ助クルノ熾盛奮熱ナル望ヲ充ツ地上ニ於テ己レノ兄

弟シ爲メニ熱ユルカ如クニ祈禱セシモイセイノ如キ出埃
三十二便徒バツエルノ如キ九ノ三神ヨリ斯民ノ爲メニ祈禱ス
ルヲ勿レトノ言ヲ聞キテ尙祈禱シテ巳マサルイエレミヤノ
如キ者一ノ十四ハ其ノ天上ニ於テ獨リ愛ニ乏シカラ
サレノミナラスコリソフ前イイススハリストストイイス
スハリストトスニ贖罪セラレタル人トテ愛シ且神ヲ望ム
ニ於テ愈々精精シテ天上ノ榮光ノ至嚴ナルト地下ノ危難
トテ全ク覺知シ禍ナル地上羈旅ノ人ノ爲メニ祈禱ノ助ケ
ヲ緊要ナルヲ愈々明視スル處ニ於テ己レノ諸兄弟ノ爲メ
ニ愈々益々熱切ニ祈禱スルヲ疑テ客レキルナリ

聖人ヲ尊
敬呼祈ス
ルノ史傳
ノ証

神使及ヒ聖人ハ能ク地ニ生在スル者ノ必要ヲ知り且能ク
其祈禱ヲ聽クハ此レ信者ノ神使ハ神ノ顔ヲ觀ルマトフエ
ト天ニ於テハ罪人ノ反正ノ爲メニ喜フ五ノ七十トニヨリテ
明ニ見ユルナリ
聖人ヲ尊敬シ及ヒ之ヲ祈禱ニ呼フコトハ諸ノ職籍ノ證スル
如ク最初ヨリ教會ニ存ス教會ハ聖人ヲ榮シ特ニ致命者ヲ
記念スルニ特別ニ祭日ヲ定メ讚詠頌辭徹夜ノ堂課ヲ以テ
又神ノ聖体禮儀ヲ行フヲ以テ彼等ヲ尊奉シ其聖者ニ妙奇
ナルノ主ヲ聖者ノ中ニ尊敬シ及ヒ信者ヲ堅メ且慰ムルカ
爲メニ聖堂ハ其名ヲ以テ立テラレタリ此レ最古ノ記ニヨ

リテ明ニ見ユルナリ例ハ第二世ニ聖ボリカールブカ致
 命セシヲ録シタルシミルナ教會ノ書翰ノ如キ第二世ノ
 初ニハ聖イグナーティイカ致命セシヲノ傳ノ如キ第三世ノ
 ハオリゲンカ證スル如キ是ナリ
 [イエゼキイ] 第四世ニハ大
 [リ] 講説七
 [ボ] ンタノ諸主教ニ遣ハス書[神學者]グリゴリイニ
 スサノグリゴリイ金口及ヒ其他モ之ヲ證ス使徒ノ時以來
 凡ソ古ノ聖體禮式ハ亦同ク之ヲ證ス此レ唯不絶ノ傳ニヨ
 リテ一ヨリ一ニ交付セルモノ、ミチ録ルサレタルナリ何
 トナレハ聖體禮儀ハ明カニ衆民ノ前ニ既ニ行ハレ今且行
 ハル、モノニシテ使徒ノ時已來教會ニテ採ラサルモノハ

聖尸ヲ尊
敬スル

一モ挿入スルヲ能ハサルモノナレハナリ若シ此教ハ第三
 四世ニ至テ初メチ顯見セハ真理ノ爲メニ獨リ今世ノ利益
 チ捨ツルノミナラス血ヲ灑キ自己ノ生靈ヲ献スルノ祭ヲ
 永遠ニ備ヘラレタル諸聖聞人中一モハリストスノ教ト膺
 合セサルノ新設異事ニ向テ一言ノ及フナカルヘケンヤ第
 二世及ヒ使徒ノ時ノ人ノヲモ亦同ク言ハサル可カラズ
 不朽体即チ聖軀ト又總テ其身ニ接視シタル物品ヲ尊敬ス
 ルハ聖人ヲ尊敬スルト偕ニス聖書ニ預言者ノ墓ト其骨ト
 ニ尊敬ヲ見ハセルカ爲メニイオシヤチ稱譽ス
 [列王紀零下
 廿三ノ十六
 及ヒ其他○列王紀略] 聖人ノ體ハ榮ヲ受ケ
 [シラフノ子イ
 ス] 四十六ノ十

二、四十イタルゲンノ水ハイリヤノ羊裘ヲ以テ上下兩分シ
 〔列王紀零下〕死者ハ預言者エリセイノ屍ニ觸レシニ賴テ復
 起シ〔列王紀零下十三ノ廿六シラフノ子〕聖使徒パウエルノ体
 ニ着ケタル帕首及ヒ汗巾ニ賴テ諸ノ病者ハ愈ニ惡鬼ハ逐
 ハレタリ〔行實二十九〕使徒ペートルノ影ヲ以テ一タヒ蔭ヒシ
 ニ賴リ全愈ヲ與ヘラレタリ〔行實五五〕
 教會ノ史ハ證ス神ノ仁慈愛及ヒ全能ハ其寵人ノ不朽体ナ
 ル聖軀ヲ表顯スルニ導キ聖軀ハ數多ノ奇蹟休兆ト病ヲ愈
 ヤセルトニ賴リテ顯著シ信者ハ聖致命者ノ殘骨餘片ヲ貴
 重ノ珍寶トシ神ノ恩寵ノ器トシテ拾収シ且保守シ諸市ハ

之ヲ有スルヲ爭ヒ互ニ之ヲ分ナテ堂々タル移轉ノ禮ヲ行
 ヒ之ヲ聖堂ノ中ニ置キテ其上ニ聖坐ヲ定メタリト第七全
 公會規則第七條ニ聖軀ヲ置クアラヌシテハ一ノ聖堂ヲモ立
 ツ可ラサルヲ定メ正教會ハ今ニ至ルマテ之ヲ守ルシミル
 十教會ノ書簡ニ曰ク我等ハ神ノ子ヲ尊敬スレド神ノ子ノ
 致命者タル門徒ト從者トニモ愛ノ叩拜ヲ施スナリ是ヲ以
 テ我等ハ謹慎シテ我等ノ爲メニ珠玉ヨリモ貴クシテ黃金
 ヨリモ寶ナル彼レ〔聖ポリカール〕ノ骨ヲ拾収セリ若シ能
 シス可ンハ我等ハ其側ニ相集リテ諸聖致命者ノ追念ヲ崇
 揚セントス

斯クノ如ク教會ハ其初時ヨリ神ノ寵人ノ不朽聖軀ヲ尊敬
 シ今ニ至ル迄不斷ニ之ヲ守リ且尊敬シテ變セス書(ウテロチ
 ズ)聖ミトロフニイノ不朽聖軀ヲ得タル(傳)〔一千八百
 モスツ〕ニ日ク「至仁ナル神ハ主神我等ノ救主イエススハ
 出板」
 リス下スカ生ヲ施ズノ苦ト死トニ頼テ見ハサレシ神ニ属
 スルノ顯現恩寵ノ觀示ノ無始無終全備セサル無キノ奇蹟
 ニ各時各處今ニ至ルマテ陸續トシテ絶エサル諸聖人ノ奇
 蹟ヲ合スルヲ悦ヘリ而シテ是日亦此レニ加フルニ我等カ
 聖ナル父ウテロチズノ第一ノ主教新ニ顯ハレタル奇蹟ノ行
 爲者タルミトロフニイカ不朽体ノ維新ナル現出ト祈禱代

聖像ヲ尊
敬スル

求ノ垂恩ナル奇蹟トヲ以テ大信ノタメニ此ノ鞏固アリ教
 會ノ爲メニ此ノ撫恤アルハ信ト行トニ於ルノ誘感ヲ文明
 ト名ツクル民ノ中ニ荐リニ散布シ且外國ノ風ハ我カ本國
 ノ祝福セラレタル地ニモ莠種ヲ搬運シ來ルノ世ニ於テ最
 緊要ナルナリ」
 教會ハ神ニ稱揚セラレシ人及ヒ聖使、至聖神母、主ナル神救
 世主イエススハリストスノ諸聖像ト光榮ニシテ生ヲ施ス
 聖架ノ象形トヲ祈禱叩拜ヲ以テ其前ニ點燭スルヲ以テ之
 ニ接吻燒香スルヲ以テ尊敬スルナリ但靈ヲ以テ意思ヲ以
 テ之ヲ象ル所以ノ者ニ轉向スルイテ誠命ス蓋シ大ワシリ

イノ證ニ依ルニ聖像ヲ尊崇スルハ其源ニ對越スイコニヤノ主教ア

聖神ノトヒイニ達スル聖神ノトヒイニ達スル

舊約ニ神ハ其臨在ノ顯象トシテ聖ナル約櫃ヲ作ルヲ命

セリ出埃及記廿五ノ十以下、廿六ノ卅三、復傳律例十ノ一オ

ザハ漫然トシテ之ニ觸レシニ因テ暴死セリサムイル神ハ

其櫃ノ側ニ建ツルカ爲メニヘルビムノ二像ヲ鑄造シ出埃及

九廿至廿二十聖堂ノ幕上ニ像ヲ織成スル卅二出城及記廿六ノ卅一

四十ヲ命セリソロモンノ聖堂ノ壁上ニヘルビムノ像アリ王列

紀零上六ノ七、廿九此レニヨリテ見ルニ舊約ノ教會

ハ既ニ聖像ヲ用サテ之ヲ尊敬セシテ明カナリ

新約ニイニススハリストスハイズライリ人カ望テ病愈テ

得タル野ニ銅蛇ヲ舉ケタルノ一民數紀廿九ヲ自己ノ舉ケラ

ル、象トシテ指示スイオア使徒パウエルハ約櫃并ニ之ニ

入レ之ヲ繞ル所ノ者ヲ格別ノ聖物トシテ示スエウレ九

大ワシリイ及ビ第七公會ノ證ニ依ルニ聖像ヲ尊敬スル

ハ使徒ノ傳ヘナリ

聖像ノ爲メニ壞聖像者ヨリ難テ受ケタル者甚ク多ク其生

血ヲ以テ聖教會聖像ヲ尊敬スルノ教道ヲ銘セリ教會ハ第

八世ニ於テ壞聖像者ヲアナフェマ教會ヨリ逐ニ付セリ例ヘ

ハイサウリヤノレオコンスタンティンコプロニム及ビ第